朝鮮社会科学者協会
通報



1

2022

通　報

朝鮮社会科学者協会

累計番号 17

目　次

１． 不世出の偉人たち

人民大衆から離れた党は水に浮いた油のようである

チュチェ 64（1975）年 11 月 6 日、偉大な金日成主席が日本の学者一行を接見し、談話を行った。

主席は談話で､わが党は最初から､人民大衆の力はつきせぬものであり､人民大衆がすべてを決定するという真理をかたく信じていた､この三十年間､わが党が革命と建設で偉大な勝利をかちえたのは､まさに人民大衆の力を信じ、人民大衆に依拠してたたかったからである、もしもわが党が、これまで自国人民に依拠せずに外国に頼っていたならば､そうした成果はおさめられなかったであろうし、きわめて複雑な道を歩まざるをえなかったであろう、と述べた。

続けて、主席はいかなる党も、人民大衆から離れていては絶対に闘争で成果をおさめることはできない、上層部だけでは問題が解決されない、と述べた。

そして主席は人民大衆から遊離した党は､水に浮いた油のようなものである､そのような党は、自主性を堅持することができず、風の吹くがままに動くようになる、と述べた。

「20 世紀の大奇跡」

1990 年代中葉のある日、偉大な金正日総書記は幹部たちと席をともにした機会に、世界に獄中闘争で有名になった人たちもいるが、30、40 年間も監獄の中で屈することなくたたかった人たちにたいする話はただわが国しかないと述べた。

同日、総書記は、自分は非転向長期囚たちの送還を実現する問題を革命の道でわが党に従って戦った同志たちにたいする信頼と信義､革命の指導者が戦士に施すべき貴い愛に関する問題に見なすと切に述べた。

その後、総書記は一度に63名の非転向長期囚がみな社会主義祖国に戻り、幸福な余生を送るよう大きな愛を施した。

世界の出版報道物はこの事実について「20世紀の大奇跡」「地球を揺るがした金正日時代の特記すべき出来事」であると賛嘆した。

感嘆した外国の園芸設計専門家

チュチェ102（2013）年のある日、世界的に有名な公園、庭園を多く設計し､無視できない存在として名声の高い外国のある園芸設計専門家が朝鮮の首都平壌に位置した錦繍山太陽宮殿を訪問した。

偉大な金日成主席と金正日総書記が生前の姿でおられる錦繍山太陽宮殿を公園化したという消息が一生を園芸設計家として生きてきた彼に大きな好奇心をそそったからである。

錦繍山太陽宮殿の広場に入るや彼はたたずんでしまった。

偉大な金日成主席と金正日総書記の明るい太陽像が丁重に建てられている宮殿の壮大な姿にも驚いたが､その前に広がった公園が非常に目覚しかったからである。

彼は中心に緑地区域を形成しなかったなら公園としての価値が落ちる、この中心部があるので両側が対称をなし、立派になれた、実に偉大な発起であると言い､この公園を設計した設計家にすぐ会いたいと同行した関係者に頼んだ。

関係者から中心部緑地造成の設計案は敬愛する金正恩総書記が具体的に指導し､自ら修正の加筆もして今日のように完成させたという話を聞いた彼は、金正恩総書記は実に偉人であると感嘆した。

彼は､園芸設計では世界的にもわがもの顔をしていた自分が恥ずかしいほどだ、錦繍山太陽宮殿に来て師の前に立った学生の気持ちを感じている、金正恩総書記こそ園林形成と建築造形はもとより、美学的な面でも天才的な才能をもっている、実に傑出した偉人であると言った。

２． 今日の朝鮮

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 4 回総会で示された主な思想

2022 年はどういう年なのか

敬愛する金正恩総書記は、朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 4 回総会で 2022 年がどういう年であるのかについて示した。

2022 年は朝鮮労働党と朝鮮人民にとって特別に重要な、意義深い年である。

2022 年は、5 カ年計画の運命と結びついていながらも現時期の朝鮮労働党と朝鮮革命の発展で非常に重要な年である。

今年のすべての事業は、5 カ年計画の初年を力強く推し進めた原動力をそのまま 5 カ年計画の完遂へと繋いでいく、動力伝達装置のようなものであるといえる。

昨年の闘争で収めた貴重な成果を絶えず拡大していくか、否かは今年の闘争如何にかかっている。朝鮮人民は高揚した熱意をさらに高めて、その気勢で今年に 5 カ年計画遂行のたんたんたる大道、基礎を築かなければならない。

すべての部門、すべての単位で今年に、その実行が裏打ちされた重大な課題を計画し、推し進めていくとき、2022 年を祖国の歴史に栄えある 1 ページを記す、偉大な勝利の年として輝かせていくことができる。

2022 年度朝鮮労働党と朝鮮人民に提起される基本課題

敬愛する金正恩総書記は朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 4 回総会で 2022 年度朝鮮労働党と朝鮮人民に提起される基本課題について示した。

2022 年に朝鮮労働党と朝鮮人民に提起される基本課題は、5 カ年計画遂行の確固たる保証を構築し、国家の発展と人民の生活ではっきりした改変を成し遂げて祖国の歴史に栄光に輝く一ページを記すことである。

党大会が示した発展と変革の 5 カ年計画を遂行するうえで一年一年の事業は極めてかなめで重要な意義をもつ。特に、今年は 5 カ年計画遂行の運命と関連する責任的な年である。

今年の闘争は社会主義建設の全面的発展のために、愛する次世代のために果敢に展開し、必ず成功しなければならない一大決戦である。

ゆえに、朝鮮人民は今年に遂行すべき基本課題を徹底的に貫徹するために、高い責任感と献身性、倍加の奮発力を発揮している。

2022年は5カ年計画遂行のたんたんたる大道、基礎を築く年

2022年を昨年の高揚した勢いをさらに燃え上がらせ、その勢いを移転させて5カ年計画遂行のたんたんたる大道、基礎を築く年にしようというのは朝鮮労働党の構想であり、意志である。

2022年は5カ年計画遂行で非常に重要な年である。2022年に朝鮮人民がどのようにたたかうかによって5カ年計画遂行の前途が左右される。

5カ年計画を遂行するうえで今の一年一年の活動は社会主義建設の発展的段階においても、国家の前進発展と人民生活の向上でも極めてかなめで重要な意義をもつ。

朝鮮労働党の賢明な指導と、党の構想と決心を決死の行動実践をもって支えてきた全人民の不屈の努力によって、昨年の最悪の条件でも朝鮮人民は党大会の決定貫徹と人民生活の向上で有意義で貴重な成果を収めた。

しかし、朝鮮人民の前には依然として難関と障害が立ちはだかっており、より膨大で重大な課題が提起されている。

今が決定的で責任的な時期である。2022年に朝鮮人民は主動性と積極性をさらに高く発揮し、打ち出した目標を成果的に達成してこそ、昨年の大事な成果を強固にし、次の段階へと確信をもって入ることができる。

朝鮮人民はどんな代価を払ってでも2022年に必ず5カ年計画遂行の確固たる保証を構築し、国家の発展と人民の生活ではっきりした改変を成し遂げるであろう。

2022年の闘争は社会主義建設の全面的発展のための張合いのある闘争

2022 年の闘争は社会主義建設の全面的発展を力強く促すための一大決戦である。

社会主義社会で人民経済のすべての部門と単位は互いに密接に結びついて一つの有機的な統一体を成している。社会主義建設の全面的発展は、人民経済のすべての部門と単位が党の示した戦闘目標を寸分の狂いもなく遂行していく過程である。

朝鮮労働党中央委員会第8期第4回総会は社会主義建設の全面的発展のための重大な課題を示した。

国の経済を成長の軌道に乗せ、人民の食・衣・住の問題解決で画期的な前進を遂げ、新たな建設革命と農村革命の炎を激しく燃え上がらせるなど、今年の膨大な闘争課題はすべての部門と単位で決死の闘争を力強く展開するときにのみ成功裏に遂行できる。

国家活動の第一順位にして

敬愛する金正恩総書記は朝鮮労働党中央委員会第8期第4回総会でチュチェ111（2022）年に国家活動の第一順位にしていささかの油断や隙間、盲点もないように強力に展開しなければならない最重大事は非常防疫活動であると述べた。

総書記の意を体して朝鮮では祖国と人民の安全を頼もしく守るための非常防疫戦で完璧性を保障している。

まず、全人民が非常防疫活動は祖国防衛戦、人民死守戦であることを深く自覚して非常防疫戦に積極的に奮い立つよう、政治攻勢、集中攻勢を引き続き強力に繰り広げている。

また革命の指揮メンバーであるすべての活動家が自己の地域と単位の防疫安全を党と国家の前に全的に保証するという高い責任感をもって、大衆的な防疫雰囲気と全社会的な自発的一致性を維持するために最大に自覚、奮発しており、高度の緊張状態を恒常的に堅持するために絶えず思索し努力している。

また国の防疫基盤を科学的土台の上に確固と引き上げ、非常防疫状況の長期化に合わせて防疫手段と物資を備蓄し、各級防疫機関をより立派に整備し、防疫活動に必要な設備と資材を優先的に保障するための対策を着実に講じている。

社会主義農村問題の解決で提起されるもっとも重要な課題

敬愛する金正恩総書記は朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 4 回総会で社会主義農村問題の解決で提起されるもっとも重要な課題について示した。

社会主義農村問題の解決において提起されるもっとも重要な課題は、思想、技術、文化の 3 大革命を力強く促してすべての農業勤労者を農村革命家にしっかり準備させることである。

農村で 3 大革命を力強く繰り広げてこそ、農業勤労者を政治的・思想的面においても技術知識と文化生活の面において根本的に開明させて農村革命の担当者、主人に、現代文明の創造者、享受者に育成することができる。

新世紀の教育革命の基本目的

敬愛する金正恩総書記は朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 4 回総会で新世紀の教育革命の基本目的は、われわれの教育を未来を安心して委ねられる最も優れた教育、理想的な教育に発展させて全ての生徒・学生を真の革命的人材、有能な創造型の人材、社会主義後続部隊に育てることであると述べた。

次世代をもっとも立派な制度と条件で立派に教育し、立派な人材に育てようとするのは金正恩総書記の確固たる決心であり、意志である。

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 4 回総会の決定貫徹に奮い立った朝鮮人民

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 4 回総会の決定を貫徹するための決起大会が行われる

朝鮮労働党の指導に従って国家の富強･発展と人民の福利のためにさらに力強く闘って行く朝鮮人民の忠誠の熱意と革命的な勢いが一段と高揚している中、各地で決起大会が行われた。

決起大会で報告者と討論者は、全党員と勤労者、幹部が党にたいする高潔な忠誠と熱烈な愛国の心をもって新年 2022 年に社会主義の全面的発展のための闘争で新たな分水嶺をもたらすために総決起､総邁進することについて熱烈に呼びかけた。

大会では敬愛する金正恩総書記に送る誓書が採択された。

続いて市民パレードが行われた。

大会の参加者たちは､朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 4 回総会の思想と精神を体して全人民的大進軍によって国家の復興､社会主義建設の全面的発展を力強く促して偉大な新勝利を収めるという決意を固めながら､革命的で戦闘的なスローガンを高く叫び、雄雄しく行進した。


새로운승리를 향하여
위대한 우리 국가의 부강발전과 우리 인민의 복리를 위하여 더욱 힘차게 싸워나가자!




총동원
사회주의건설의
전면적발전을 위한 튼튼한 토대를
혁명적대경사의 해,
새로운 승리의 해
전진과
비약의 시대






애 국 청 년


애 국 청 년
우리 당과 국가, 무력의 위대한 수반이신 김정은동지 만세!


위대한 김정은동지 따라 주체혁명위업을 끝까지 완성하자!

人民経済の各部門が連帯的革新を起こしながら前進する

朝鮮労働党中央委員会第８期第４回総会が示した課題を体して人民経済の各部門の活動家と労働者階級が新年の最初の戦闘から気勢を上げている。

電力工業部門の活動家と労働者階級が当面の電力需要を円満に保障しながら生産を高い水準に引き上げるための闘争を力強く繰り広げている。

大動力基地である北倉火力発電連合企業所では設備の稼働率を高めており、各火力発電所でも生産の手配を綿密におこない、技術規定と標準操作法の要求を厳格に守って日程計画を間違いなく遂行している。

各地の水力発電所では水の確保と水力構造物の状態を調べて掌握し、点検と補修システムを確立し、発電設備のフル稼働ができるようにしている。

南興青年化学連合企業所と興南肥料連合企業所をはじめとした化学工業部門の活動家と労働者階級も、自らの技術力の強化に引き続き力を入れながら猛烈な生産突撃戦を繰り広げ、肥料の生産と軽工業、製薬工業の原料の生産で成果を収めている。

石炭工業部門の活動家と炭鉱夫たちが石炭の生産に拍車をかけており、林業部門でも人民経済の各部門に送る原木の生産を日程計画通りに推し進めている。

各地の建材生産単位では新たな建設革命を起すためにセメントをはじめとした建材生産で連帯的革新を起している。

機械工業部門と鉄道運輸部門、採取工業部門でも人民経済の全面的発展のための闘争に一人のように奮い立って果敢な奮発力を発揮している。

党中央委員会第８期第４回総会の決定を体して軽工業部門では生徒・学生の制服やかばんの生地、各種の学用品の生産を本格的に促している。


새로운 승리를 향하여!
전력증산으로 당을 받들자!
1호발전기

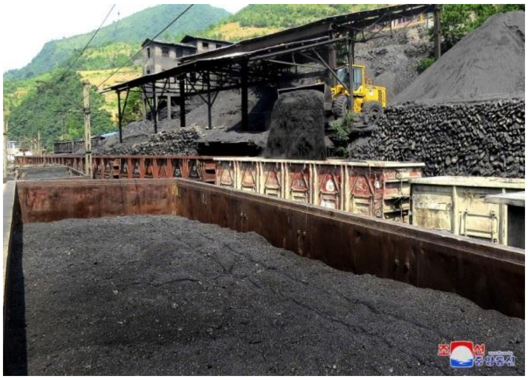



향토애














세계에 도전하라, 세계를 앞서나가라!





社会主義経済建設の主要な部門で活発になっている科学研究活動

朝鮮労働党中央委員会第 4 回総会の決定を体して各地の大学の研究集団が社会主義経済建設の主要な部門に進出して科学研究活動を本格的に展開している。

自立経済の双柱である金属工業と化学工業部門で科学研究活動が活発になっている。

金策工業総合大学と清津鉱山金属大学をはじめとした諸大学の研究集団は金策製鉄連合企業所の銑鉄生産量を増やし、鋼の質を改善するための研究に拍車をかけている。

特に、清津鉱山金属大学の研究集団は当該の科学研究機関とともに褐炭による銑鉄生産技術を確立することを主な目標の一つとして押したて、うまずたゆまず思索と探求を続けている。

電力、建設、交通運輸部門でも研究集団の科学研究活動が猛烈に繰り広げられている。

咸興水利動力大学の研究集団は新型のタービン羽根の設計及び製作技術を各地の水力発電所に導入する上で提起される科学技術的問題を成果的に解決している。また、平壌建築大学の研究集団は研究成果の導入と施工指導を綿密におこなって複数の対象工事で建築物の質をより良く保障できるようにしており、平壌交通運輸大学の研究集団は飽くことを知らぬ探求戦で交通運輸部門の近代化、情報化の実現に寄与している。

この他にも各地の大学では現実にしっかり足を据えて経済発展と人民生活の向上に寄与する基礎及び先端科学部門の研究活動を活発に推進している。

大学間の科学技術交流が積極的に行われる中、優れた技術と経験、手段を共有しながら生産能力の拡張と生産工程の近代化、生産正常化に寄与する科学技術的問題を適時に解決しようとする研究集団の探求の熱意はさらに高揚している。






人民生活の向上のために

朝鮮労働党中央委員会第８期第４回総会の思想と精神を体して奮い立った朝鮮人民は人民生活の向上のために人民経済のすべての部門、すべての単位で飛躍的な生産的高揚を起している。

農業部門では災害性異常気象に耐えながらも収量の高い優良品種、多収穫品種を育種、導入し、種子の生産を科学技術的におこない、需要によって円満に保障するための実用的な対策を講じている。

水産部門では科学技術を優先させて漁労作業の効率を高め、水産業の物質的・技術的土台を強化し、水産物の生産に切実に必要な資材を円満に保障し、造船と船舶修理拠点、漁具及び部品の生産拠点の近代化を積極的に推進しており、水産資源を保護し増殖させるための活動をさらに促している。

人民生活の向上の前哨線を守っている軽工業部門では現時期、醸し出された難局をいちはやく打開しながら一般消費財の生産を活性化し、品種を拡大し、設備と原料、資材の国産化、再資源化を軽工業発展の生命線として力強く推進させている。

遠隔教育を着実に行っている朝鮮

朝鮮では朝鮮労働党中央委員会第８期第４回総会の決定を体して幹部と勤労者を遠隔教育システムに網羅させて現代科学技術を熱心に学ばせるために努力している。

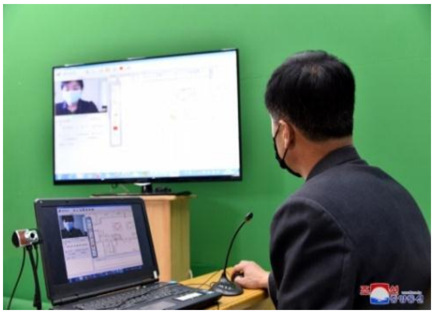
科学技術が早く発展し、先端科学技術の更新周期が引き続き短縮されている今日の現実は遠隔教育を強化して科学者、技術者、現場の活動家と勤労者の資質と能力を一段と高めることを要求している。

人民大学習堂の活動家と講師たちは遠隔教育を高い水準で実現する目標を提起し、数年間も準備活動を粘り強く行って、数十の学科目を新たに開拓するとともに現代的な遠隔講義室を増設し、教育環境を一新させるための事業も同時におし進めている。

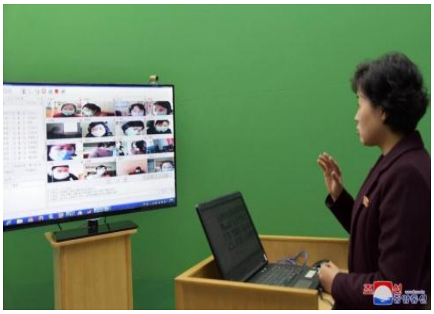
平壌農業大学、元山農業大学、桂応祥沙里院農業大学をはじめとした各地の大学では社会主義農村発展の新時代を開こうとする朝鮮労働党の雄大な構想を体し、農業勤労者の入学生数を現実的要求に合わせてもっと増やす目標を提起し、遠隔教育システムを強化するための活動を本格的に推進している。











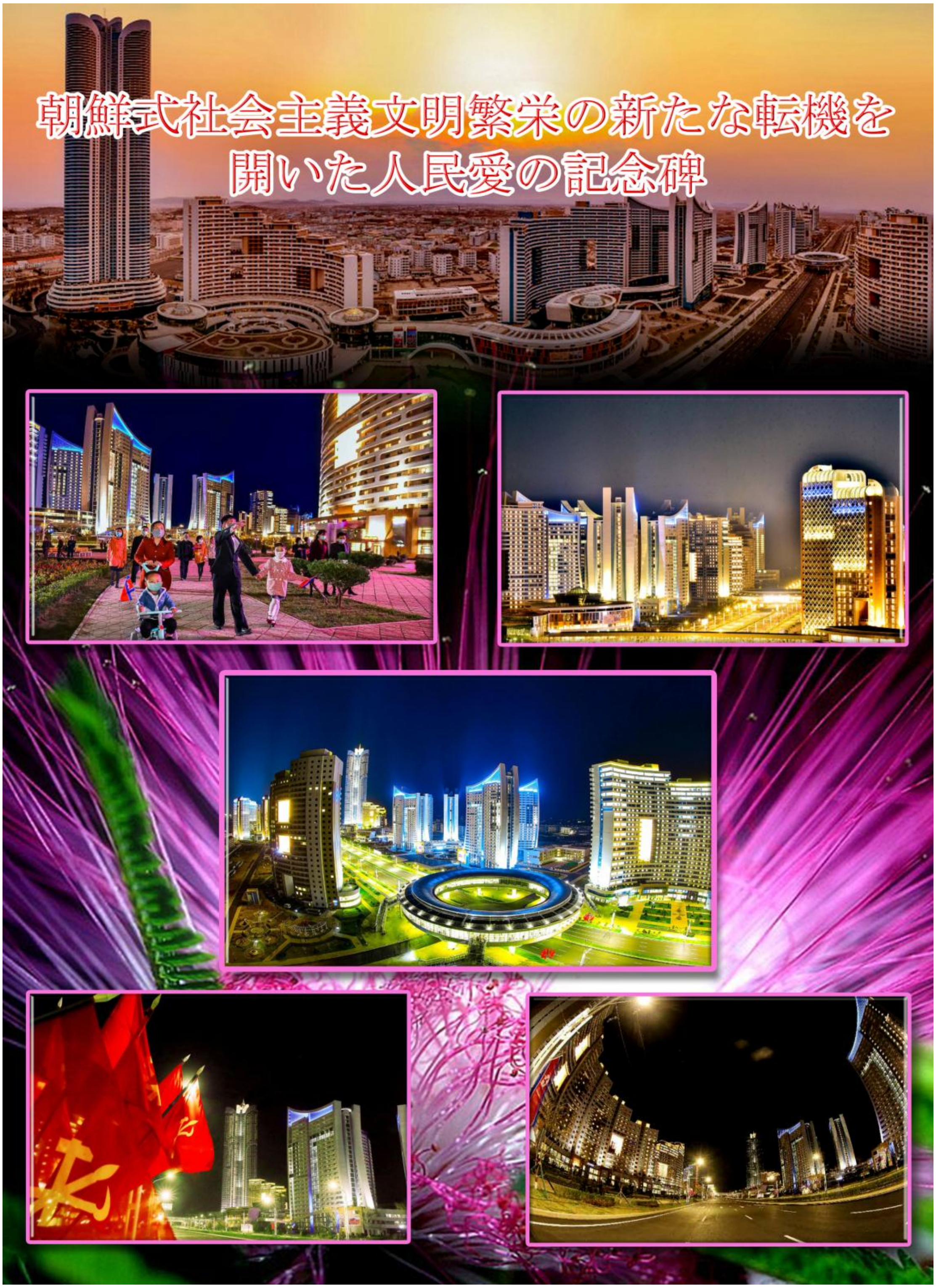





김책공업종합대학

写真編集物

平壌市で1万世帯の住宅を完工




朝鮮式社会主義文明繁栄の新たな転機を
開いた人民愛の記念碑
松花通り

瓊楼洞住宅区を完工


朝鮮労働党の人民大衆第一主義の理念とチュチェ建築の飛躍的
発展ぶりが凝縮された平壌の新しい景観
普通江護岸段々式住宅区
瓊楼洞


朝鮮労働党の人民大衆第一主義の理念とチュチェ建築の飛躍的
発展ぶりが凝縮された平壌の新しい景観
普通江護岸段々式住宅区
瓊楼洞

生徒・学生に新しい制服を供給













社会科学部門セミナーのニュース

偉大な金正日総書記の不滅の革命業績を深く体得するための中央研究セミナーが行われる

卓越した思想と指導でチュチェ革命偉業を勝利の一途に導いた偉大な金正日総書記の不滅の革命業績を深く体得するための中央研究セミナーがチュチェ111（2022）年2月9日、朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌で行われた。

中央と平壌市内の党、行政、勤労者団体の幹部、武力機関、科学、教育、文学芸術、出版報道、革命事績部門、党幹部養成機関の理論宣伝活動家がセミナーに参加した。

セミナーでは偉大な金正日総書記の不滅の思想的・理論的業績と指導の賢明さを深く論証する論文が発表された。

討論者たちは金正日総書記は千里眼の非凡な英知と精力的な思想理論活動によって金日成主席の革命思想を金日成主義に定式化し、時代と革命発展の要求に即して発展豊富化させ、自主時代の永遠な指導思想として光を放つようにした傑出した思想理論家であると強調した。

彼らは金正日総書記が金日成主義を全面的に体系化し、チュチェの社会主義建設理論、思想論をはじめとした革命理論を独創的に示してチュチェの革命理論発展の新たな境地を開拓したのはチュチェ革命偉業の勝利的前進とともに永遠に輝く貴い業績であると言及した。

討論者たちは金正日総書記の党建設指導史は非凡な政治実力で百戦百勝の朝鮮労働党の不敗の威力をあまねく誇示してきた不滅の年代記として輝いている、金正日総書記が全社会の金日成主義化を党の最高綱領に宣布したことに次いで全党の金日成主義化を党建設の戦略的路線として示し、朝鮮労働党を領袖の党、不敗の革命的党、真の母なる党に強化発展させた金正日総書記の党建設の業績は、自主時代の革命的党建設の百科全書的な教本であり、革命の勝利的前進を保証する貴い財宝であると強調した。

また、金正日総書記は朝鮮革命のもっとも厳しい試練の時期に必勝不敗の先軍政治によって祖国と革命の運命を固守した傑出した名将であり、祖国の富強・繁栄と人民の幸福のための道に一生をささげて祖国の歴史に永遠に輝く不滅の業績を成し遂げた希世の愛国者であると言及した。

討論者たちは金正日総書記が時代と革命、祖国の前に積み上げた不滅の業績の中でもっとも輝かしい位置を占めるのは､党と人民が白頭で切り開かれた聖なるチュチェ革命偉業を永遠に継承し完成していける確固とした保証をもたらしたことであるとし､出色の政治実力と非凡な指導風貌で社会主義朝鮮を百勝の道一筋に導いている金正恩総書記がおられるのでチュチェ革命偉業の最終的勝利は科学であり、法則であると強調した。

討論者たちは金正日総書記の貴い革命生涯と不滅の革命業績をとわに輝かせる上で自分たちが担っている責任と本分を全うしていく決意を表明した。

３．特集

偉大な金日成主席の生誕 **110** 周年盛大に慶祝




偉大な金日成主席の生誕
110周年を盛大に慶祝
조선로동당을 어머니당으로!
平壌市民パレード


偉大な金日成主席の生誕
110周年を盛大に慶祝
大公演「永遠なる太陽の歌」

偉大な金日成主席の生誕110周年を盛大に慶祝









第7回4月の春人民芸術祭典












偉大な金日成主席の生誕
110周年を盛大に慶祝
照明祭典
1912

偉大な金日成主席の生誕
110周年を盛大に慶祝







青年学生の夜会がおこなわれる





偉大な金日成主席の生誕110周年を盛大に慶祝



美術展示会









偉大な金正日総書記の生誕 80 周年を盛大に慶祝

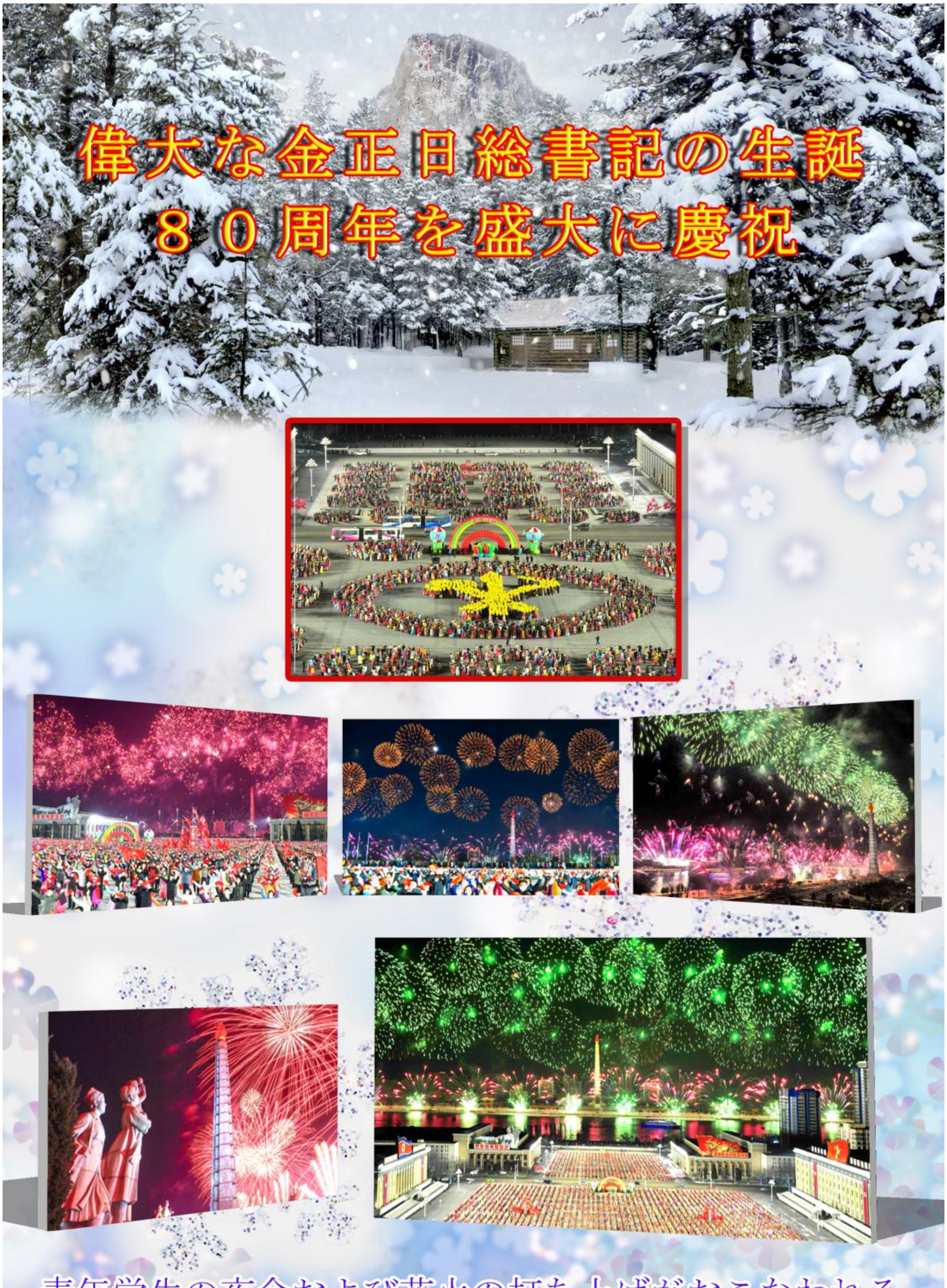



偉大な金正日総書記の生誕
８０周年を盛大に慶祝
大公演「輝け正日峰」

偉大な金正日総書記の生誕８０周年を盛大に慶祝



三池淵市の異彩を放つ氷の彫刻風景


偉大な金正日総書記の生誕
８０周年を盛大に慶祝
青年学生の夜会および花火の打ち上げがおこなわれる

朝鮮人民革命軍創建９０周年慶祝閲兵式が盛大におこなわれる




朝鮮人民革命軍創建９０周年慶祝閲兵式が盛大におこなわれる
4★25
1932-2022

４． 懇談

自ら担う義務

社会と国家の発生以来、個別的な社会的存在や社会的集団はすべて義務と権利をもつようになる。

前者と後者はともに、義務を果たさずに権利のみを享受することができず、権利なしに義務だけを担うこともできない。しかし、人類の社会発展の過程を見るとき、党と国家が人民により多くの権利を与えるために義務を自ら担った例は多くない。

それはその義務が限りない献身と労苦、さらには犠牲も覚悟しなければならないからである。

人民大衆第一主義を政治理念に、政治方式にする朝鮮労働党は、数千万の人民大衆の生命安全と幸福のために自ら多くの義務を担っている。

人民のために朝鮮労働党と国家が担っている重い荷、義務と責任にたいする朝鮮社会科学者協会の活動家たちの談話を伝える。



リ・ジョンファ　みなさんも周知のように、朝鮮労働党中央委員会第８期第３回、第４回総会では国家的負担で全国の子供たちに乳製品を供給し、新しい形態の良質の制服とかばんをすべての生徒･学生にもれなく供給するという課題を示し、それを実行するための朝鮮労働党中央委員会の重大措置を取り、また、数千の協同農場が国家から貸付金をもらって償還できなかった資金を全て免除する特恵の措置も取りましたね。



カン・ウンチョル　それだけではありません。朝鮮労働党中央委員会第8期第4回総会では人民の生活環境を根本的に改変させるための新しい建設革命を起こすという構想も示しました。とりわけ、すべての農村を社会主義楽園に転変させるための実践的対策を講じました。

キム・ヘソン　母なる党の主要会議にたいする知らせはどれもみな人民の尊厳と栄光、安寧と幸せのためのものなので、なお感動させられます。このたびの朝鮮労働党

中央委員会第８期第４回総会の知らせを聞いて、みんなそうだったでしょうけど、私も感激の涙を禁ずることができませんでした。

ズ・ミョンウォン　同感です。福の中で福を知らぬという言葉もあるように、党の配慮がいかに大きなものであるかを知らずに受けてきたわれわれです。今回党中央委員会が講じた重大な措置は、普通の時でもなく、あまりにも困難な時に重ねて施される配慮なのでより胸が一杯になるのです。



リ・ソヨン　そうです。振り返ればわが子供と生徒・学生に払われる党の愛と配慮は実に、われわれの胸を熱くします。早くから偉大な金日成主席は子供たちを国の王様と呼んで国家の負担で子供たちを保育•教育することを法化し、あらゆる条件を十分に保障しましたね。子供たちに肉類と卵、魚と果物を十分に保障するように各市には区域ごとに、郡には各所在地に託児所、幼稚園供給所を設けるようにし、また子供たちに栄養価の高い食品を供給するようにして、育ち盛りの生徒・学生にも果物を供給するようにした偉大な主席のその恩恵を伝えるには限りがありません。

カン・チョル　国で実施されている子供たちのための栄養供給制はどの国にも類例がないものです。

金正恩総書記は、子供たちのための事業に党的、国家的な力を最大に入れるのは、未来のために戦う革命家の本領であり、初歩的な義務であるとし、全国の子供たちに国家の負担で乳製品を供給するための対策を具体的に講じてくださいました。

キム・ヘソン　その通りです。金日成主席は生前にわが国で実施されている各種の共産主義的施策は、社会主義国だからといってどこでも実施できるものではなく、金持ちの国だからといって実施できるものでもない、と述べました。主席はこのような共産主義的施策は、もっぱら人民大衆をもっとも大切にし、その運命を全面的に責任をもって見守るわが党と国家によってのみ実施することができる、すべてを人間を中心にすえて考え、人間に奉仕させるというチュチェ思想の要求を具現しているわが党と国家の政策は不変のものである、と述べました。



カン・ウンチョル　領袖が非凡かつ出色なので、領袖の思想が偉大かつ人民的なので施される愛もあれほど熱いのだと思います。

偉大な金日成主席と金正日総書記は全国の生徒・学生に国家の負担で新しい制服と学用品を供給するようにしました。

わたしは全国の生徒・学生と子供が金日成主席と金正日総書記の愛が込められている新しい制服と学用品をもらって喜びの中に、幸福の中に迎えていた太陽節、のどかな春の祝日を忘れることができません。

リ・ジョンファ　国中が花の海でしたね。通りにも町にも花の波が流れ、大人たちの心にも子供たちの心にも喜びの花が満開していたその日々をわれわれは忘れることができません。

チュチェ 63（1974）年 4 月 12 日、金日成主席はある学校を訪ねて直接カメラをもって長時間にわたって新しい制服を着た生徒・学生の姿を撮ってくださいました。

ズ・ミョンウォン　敬愛する金正恩総書記は金日成主席と金正日総書記を信じ、全人民が将来を楽観して「われら幸せうたう」の歌をうたっていた時代を、過ぎ去った歴史の中の瞬間ではなく、今日の現実にするために人民のための重荷を自ら担っています。金正恩総書記は朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 4 回総会で生徒・学生に国家の負担で制服と学用品を保障するのは党と国家の一貫した政策であると述べました。総会で課題が示された時から何日も経たずにしてもう校庭に入る生徒・学生に新しい制服と学用品が供給され始めました。



リ・ソヨン　人びとの胸に、家々に金正恩総書記の火のように熱い愛と恩情が流れ込んでいます。世界一の文明の頂上、幸福の壇上に人民を立たせようとする金正恩総書記の雄大な構想と理想、溶岩のような熱望が人民の肌に行き届いています。今回の総会で協同農場が国家から貸付金をもらって償還できなかった資金を全て免除する特恵の措置が宣布され、近い将来に全国の全ての農村を裕福で文化的な社会主義楽園につくるという党の農村建設政策を見てもよく分かります。

カン・チョル　金正恩総書記は全国の農村を山間の理想都市、地方建設のモデルである三池淵市の水準につくるようにその基準を定め、主要資材と仕上げの建材を国家的に保障し、農村建設を党と国家が指揮する強力な指導システムを確立することなど、農村建設を進めるための課題を具体的に示しました。



金正恩総書記は地方の建設に関する党の建築美学思想を堅持して農村建設において独創性と現代性、文化性、政治性を保障することについて特別に強調しました。

カン・ウンチョル　これが自分の心の中には近くにいる人民、遠くにいる人民が別にいないという金正恩総書記の熱い真心がそのまま込められた党と国家の人民的な政策であると思います。

リ・ジョンファ　人民が望み、喜ぶことを実現するための重荷をになう党と国家の懐で生きるわれわれの幸福は限りがないのです。われわれの未来は永遠に明るいでしょう。

５． チュチェ思想に関するインターネット国際セミナーのニュース

偉大な金日成主席の生誕 110 周年に際してチュチェ思想に関するインターネット国際セミナーが盛大に開催

偉大な金日成主席の生誕 110 周年に際して「人類の自主偉業の永遠なる旗印――チュチェ思想の真理性と生命力」に関するインターネット国際セミナーがチュチェ思想国際研究所の主催でチュチェ 111（2012）年 4 月 10 日から 16 日までの間に行われた。

セミナーの成果的保障のためにチュチェ思想国際研究所インターネットホームページに開設された特別欄には、偉大な金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の写真が丁重に掲載された。

また「金日成主席の生誕 110 周年慶祝」と題して「金日成主席の世紀的業績」「革命理論と実践の大家金日成主席」「金日成主席の指導の下に社会主義自立的工業建設」「人類の偉大な太陽金日成主席」「自主路線を確固と堅持するのは人類の生命線である」など、70 余ヵ国のチュチェ思想研究者と政界、学界の人士が提出した 130 余件の討論文、朝鮮社会科学者協会と各地域のチュチェ思想研究所、朝鮮人民との友好・連帯団体がセミナーの前に送った祝電が掲載された。

チュチェ思想国際研究所とアジア、アフリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカ地域のチュチェ思想研究所理事会のメンバー、各国のチュチェ思想研究組織の代表と各界人士がセミナーに参加した。

セミナーではチュチェ思想国際研究所理事長ラモン・ヒメネス・ロペスが開会を行った。

彼は偉大な金日成主席の生誕 110 周年に際してインターネット国際セミナーが開かれたのは全世界のチュチェ思想研究者にとって大きな喜びになるとし、同セミナーが成功裏に行われることを望むと言った。

続いて、朝鮮社会科学者協会 1 副委員長シム・スンゴンが祝賀演説をした。

彼は自主的に生き、発展しようというのはすべての国と民族の要求であり、チュチェ思想はこの時代の要求を実現するための進路を示す、と言った。

チュチェ思想の真理性と生命力は朝鮮民主主義人民共和国の70余年の歴史を通じて明白に実証されたとし、朝鮮が強国の威容を轟かせたのはチュチェ思想を指針にして闘って来たからであると言った。

彼は朝鮮の昨日と今日、そして世界自主化の激流はチュチェ思想が科学であり、勝利であり、人民大衆の自主性を実現するための闘争の貴い指針であることを示すといい、複雑な国際情勢の中でもチュチェ思想の研究普及が中断することなく行われているのはその不変の科学性と真理性にたいする世界的な公認である、この活動をより積極化して21世紀を自主と平和で繁栄する人類の世紀に輝かせる上で先覚者としての栄誉と本分を全うしていこうと呼びかけた。

続けてチュチェ思想国際研究所事務局長尾上健一、ネパール記者協会委員長マンジュ・ラトナ・サキヤ、ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会副理事長であるチュチェ思想研究フィンランド全国委員会委員長ユハ・キエクシ、チュチェ思想国際研究所理事であるアフリカ地域チュチェ思想研究委員会書記長ロヘケレ・カロンダ・アンドレ、ラテンアメリカのチュチェ思想国際研究所書記長エレアサル・ルビオ・アルダラン、ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会理事であるブルガリア金日成・金正日主義研究グループ責任者リュドミル・コスタディノフ、ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会理事であるチュチェ思想研究ルーマニア全国委員会委員長バシレ・オルレアヌ、コンゴ諸人民間の親善協会委員長ビタル・バラ、アジア地域チュチェ思想研究所副理事長であるスリランカ自力更生研究会委員長W・A・ドミンド・ワルダネ、アフリカ地域チュチェ思想研究委員会理事であるチュチェ思想研究ベナン全国委員会委員長ヘス・コホビ、ベルギー朝鮮親善協会書記長エン・グセンス、チュチェ思想研究ウガンダ全国委員会委員長マヤムバラ・ロレンス、セネガル・ウアカム地域チュチェ思想研究グループ責任者スルレイマン・バフ、イギリス・チュチェ思想研究グループ委員長ダーモット・ハドソンなどが討

論した。

討論者は金日成主席を人類に自主時代をもたらした思想理論の英才、世界革命の領袖として称揚し、チュチェ思想を総合体系化して人類思想の宝庫を豊かにした金正日総書記の業績を褒めたたえた。

また朝鮮を強大無比の戦争抑止力を打ち固め、いかなる大敵もあえて手出しできない世界的な強国として浮上させた金正恩総書記の偉人像を称えた。

セミナーでは金正恩総書記に送る手紙が採択された。

一方、セミナーの期間に「チュチェ思想と社会主義朝鮮」と題してインターネット写真及び図書展示会が開かれた。

各国のチュチェ思想研究組織では金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の不滅の思想・理論業績を収録し、日増しに活性化するチュチェ思想研究普及活動にたいするビデオ編集物を視聴した。

チュチェ思想に関するインターネット国際セミナーの討論文の中で

金日成主席の世紀的業績

チュチェ思想国際研究所理事長
ラモン・ヒメネス・ロペス

金日成主席が積み上げたもっとも大きな理論的・実践的業績は世界的範囲において自主的で平和的な新しい時代を切り開くことに役立つ、チュチェ思想を創始し発展させたことです。

金正日総書記は金日成主席が創始した革命思想、チュチェ思想をチュチェの思想、理論、方法の全一体である金日成主義に定式化しました。

金正日総書記は1982年3月31日、金日成同志誕生70周年記念全国チュチェ思想討論会に寄せた論文である不朽の古典的著作「チュチェ思想について」で次のように述べています。

「チュチェ思想は金日成同志の深奥かつ多方面にわたる思想・理論活動の貴い結実であり、チュチェ思想の創始はその革命業績のうちでもっとも輝かしい地位を占めています」

金日成主席は早くから教条主義とセクト主義、日和見主義と事大屈従に反対して闘いました。全世界の勤労者の党建設において現れていたこれらの毒素に反対して主席は、自力更生に依拠し、実情に即しておこなう方法、言い換えれば人民大衆の尽きない力に依拠し、各国の特性と歴史、文化伝統と祖国愛を考慮して当該諸国の現実に合うようにする方法を立派に具現しました。

これは朝鮮民主主義人民共和国をして政治における自主、経済における自立、国防における自衛を実現した社会主義国家に強化させました。

金日成主席は人民大衆の自主的な思想意識が革命運動において決定的な役割を果たすと見なし、いつも思想活動に第一義的な関心を払いました。

これは帝国主義の支配と寡頭政治から人民を解放するために闘争する世界のすべての革命的で進歩的な力量にとって特出した遺産となります。

朝鮮人民のこの自主的意識の発展は、反帝闘争のもっとも厳しかった時期と社会主義陣営の崩壊が招かれた時に、朝鮮民主主義人民共和国を社会主義の守護と発展の不敗の世界的砦として立ち上がらせました。

朝鮮民主主義人民共和国は世界の自主と平和の新しい時代を開くための人類の前途を照らす灯台となりました。

新しいこの時代を開く上で金日成主席の業績は第一義的な地位にあります。なぜなら主席はいつも各国が自分の運命を自主的に決定し、諸国間の関係が他国の内部問題に干渉しないことに基づき、諸国間に生じうる不和を戦争ではなく平和的な方法で解決するように闘争し導いたからです。

金日成主席の遺訓は、世界の自主と平和の新時代を開くためにすべての国が人民大衆に依拠して自国の実情に即して闘争するようにすることです。

また、金日成主席は社会主義革命と建設の勝利を成し遂げるために思想革命、文化革命、技術革命を同時に推し進めました。これらの革命は現在、社会生活の各分野で完全な自主性を実現するために闘争するすべての人民にとって根本的な問題となります。言い換えれば人民大衆に依拠して自国の特性に応じてこの三大革命を同時に発展させなければどの国も完全に自主的な国となりえないということです。

金日成主席が積み上げた不滅の業績は、また三年間の戦争を通じて北朝鮮に社会主義と相反する体制を押し付けようとしたアメリカ帝国主義の企図を粉砕したことです。世界史を振りかえて見れば、これは疑いなくもっと

も強大であった帝国主義強国の侵略に立ち向かって自主性を守り抜いた、人民の最も英雄的で力強い闘争となります。

金日成主席の指導の下に英雄的朝鮮人民が収めたこの勝利は、平和を愛する世界の進歩的人民の記憶と心の中に歴史の浅い国の人民でも革命意識で武装し、偉大な領袖に指導されてこそ、世界の支配者、無敵必勝を自称する者らに最初になる軍事的打撃を与えた一つの業績として刻まれています。

朝鮮人民のこの勝利は、金日成主席が明らかにした、今一つの真理を誇示しました。革命と建設を推し進めるには領袖、党、大衆の一心団結が必要であり、人民大衆を組織動員して政治的に教育すれば軍事的面でいかに強いと自称する敵をも打ち破ることができるということです。

それは朝鮮人民の偉大な勝利で結束された米日帝国主義との二回にわたる戦争と社会主義建設過程に明白に確証されました。

金日成主席は以民為天の思想にもとづいて人民を愛し、大事にし、人民の力に依拠して幸福な人民の国の世界的モデルをつくるために力強く戦いました。

金日成主席に永遠な栄光を！

金日成主席の崇高な教えと深い愛情

チュチェ思想国際研究所事務局長

尾上　健一

2022 年 4 月 15 日は金日成主席誕生 110 周年にあたります。

金日成主席の誕生日を迎える度に、私は金日成主席の接見を受け、主席から多くの重要な教えと愛情をいただいたことを思い起こします。

自国人民を愛し自国に根ざしてたたかった金日成主席

革命闘争において、領袖の果たす役割は決定的です。革命は領袖によって時代の要求を反映して実現し、発展していきます。

マルクスは 19 世紀中葉に、マルクス主義を創始して社会主義理論を空想

から科学へ転換し､労働者階級の解放とその運命開拓に歴史的に寄与しました。

レーニンは 20 世紀初頭､『帝国主義論』を著し、ロシアで社会主義革命を史上初めて勝利させました。

金日成主席は、日本の植民地下において名前も奪われ、収奪の限りをつくされて生活していくことさえ困難な境遇にあった朝鮮人民に解放をもたらしました。

また､誕生まもない朝鮮を崩壊させようと襲いかかってきた帝国主義勢力の圧倒的な武力攻撃も跳ね返し、自主独立国家を築きました。

金日成主席の賢明な導きのもと、朝鮮人民は一丸となってたたかい、日本と米国という二大帝国主義に勝利したことにより､自主時代の幕が開いたと言えます。

金日成主席は、抗日革命闘争の過程でチュチェ思想を創始し、チュチェ思想にもとづいて革命と建設をすすめていきました。

チュチェ思想によって、人間の世界における地位と役割が解明され、人類は目的意識的に自己の運命を開拓することが可能となりました。

金日成主席はチュチェの社会主義国を朝鮮に建設したばかりではなく、自国の模範をもって自主平和の運動を先導し､世界の人々を励ましていきました。

私が 1975 年 4 月 16 日､金日成主席の接見を初めて受けたとき､主席は､世界人民の自主偉業はいまだ完成していない､理論的にも実践的にも今後なすべき課題が多くある､私たちは､今後もっと闘争もしなければならないし､経験も積まなければならず､理論も豊富にしていかなければならない､あなたたちもみんな自主時代に生きているのだから､この時代的潮流にそうようすべての人を諭し､彼らが自主性のためにたたかうよう､同志としてともに努力していこう､と述べました。

金日成主席はこのように自主時代に生きる同志として生死苦楽を共にし､互いに努力していくよう励まされました。

また、金日成主席はチュチェ思想を研究普及し、具現していく活動を通して､人民の自覚を高め､自主性擁護の道に導いていくことが全人類のために寄与することになると言及されました。

金日成主席は革命を最終的に勝利させるために後継者を育てた

革命偉業は人民の自主性を完全に実現して共産主義を建設し、世界革命が勝利するまで遂行されなければなりません。それゆえ革命偉業は一世代で完遂することはなく、長期性を帯びていきます。革命偉業は代を継いで継承してこそ、完遂されます。

金日成主席は後継者をりっぱに育てたことにより、人類に革命の最終的勝利の担保を与えてくださいました。

1987 年 1 月 19 日、金日成主席の接見をうけた際、私は主席があまりにも身近に感じられたので、失礼だとは思いながらも、金正日総書記はどのような方か教えてくださいと質問しました。

すると金日成主席は、金正日総書記は謙虚であると述べました。

続いて主席は、中国の故事を紹介しながら、後生可畏という孔子の話をしてくれました。

金日成主席は金正日総書記と新しい世代にたいする絶対的な信頼をこのような形で表現したのです。

私は金日成主席に金正日総書記の著作を外国で出版できるようにしてほしいとお願いしました。

金日成主席はその希望を聞き入れ、以来、金正日総書記の著作が出版され、世界の人々はチュチェ思想をいっそう深く研究できるようになりました。

日本のチュチェ思想研究者は各地にキムジョンイル著作研究会を結成した活動の成果をもって、1994 年 2 月 5 日、キムジョンイル著作研究会全国連絡協議会を結成しました。

金正日総書記は、金日成主席が金正日総書記を育てたように、金正恩総書記を信頼しチュチェ革命偉業の後継者として育てていきました。

金正日総書記は、金正恩同志は、朝鮮革命がもっとも困難だった苦難の行軍の時期に人民と苦労をともにし、多くの人生体験もした、彼は人民とともに苦難と試練を経ながら、革命同志と人民にたいする信頼、チュチェの革命偉業の正当性にたいする信頼をさらに深め、革命家にとって愛より偉大で貴重で力のあるものは信であるという哲理を胸に深くきざんだ、おそらく、金正恩同志は苦難の行軍の時期を永遠に忘れないであろう、と述べています。

そして金正恩同志は指導者として身につけるべき特出した実力と風貌をそなえており、人民から全的な支持と信頼をうけていると述べました。

私たちは、金正恩総書記の著作を日本の多くの人々が学べるように、金正恩著作集第 1 巻と第 2 巻を発行しました。また、金正淑女史生誕

100 周年にあたる 2017 年 12 月 24 日、金正恩著作研究会を全国組織として大阪で結成しました。

世界人民を愛し、世界の自主化のために生きる同志として

金日成主席は、朝鮮の革命に責任をもつだけでなく、世界の自主化と平和に強い関心をもち、私たちにたいしても同志的な立場から貴重な助言をされました。

1977 年 9 月 25 日、金日成主席は安井郁日朝社会科学者連帯委員会議長を団長とする日本チュチェ思想研究学術代表団に会見してくださいました。

金日成主席はピョンヤンでのチュチェ思想国際セミナーで、チュチェ思想に関する国際的常設機関を設置することが全会一致で決議されたことと関連して、いま、世界の人たちがチュチェ思想を要求している、世界の人民は自主的にすすまなければならないし、自主性にもとづいて団結しなければならない、と述べました。

金日成主席の助言をうけ、安井郁教授を中心とした代表団は帰国後すぐにチュチェ思想国際研究所の設立のための活動に着手しました。

1978 年 4 月 9 日、世界 10 か国から約 800 名のチュチェ思想研究者が東京に集い、チュチェ思想国際研究所が設立されました。世界人民は自国の革命と建設をまっすぐに推し進めることができる思想的組織的担保を手にしました。

金日成主席はたたかいの最初から自国の革命を自国人民に依拠して自国の実情に応じておこなっていくという自主的な立場、方法を確立していました。

1990 年 9 月 17 日に金日成主席が私を接見してくださった際、主席は私に、1920 年代の中頃、コミンテルンが自分にソ連の共産大学への留学をすすめたことがあるが、それには感謝するが、ソ連で学ぶことはしないと断った、自分はそのとき、書物を通して学習することは朝鮮においてもできる、他国の革命の経験を学ぶことも大事なことだが、それはいずれ都合のよい時間をとっておこなえばよい、私たちは朝鮮で革命をおこなうのだから、朝鮮革命の方法は革命闘争をおこないながら朝鮮人民から学ぶべきだと考えた、自分はその時以来、一貫して朝鮮革命は朝鮮人民から学ぶという立場を堅持

してきた、と述べました。

私は金日成主席の教えを胸に、日本のたたかいは徹底して日本人民に依拠し、日本人民の思想感情にあった方法でおしすすめていくことを決意しました。

金日成主席は朝鮮が植民地下にあったときから、朝鮮で社会主義、共産主義を建設し、世界で革命を勝利させていくことについて大きな関心をもっていました。

金日成主席はたとえどのような困難があっても、人民のためによいことであれば必ず成し遂げようと、大きな志をもって生きた方でした。

家族の心に深く刻まれた金日成主席の愛と信頼

金日成主席の教えと愛は、私の家族の心にも深く刻まれました。

主席は 1993 年 4 月 2 日、私の家族を招待し、暖かい配慮を示してくださいました。

金日成主席は惜しくも家族とともに接見した翌年亡くなりましたが、主席の愛と信頼は私たちの心に深く刻まれ、いつまでも消えることはないでしょう。

その後、主席が実現できなかった革命偉業は、金正日総書記に継承され、いま、金正恩総書記によって、朝鮮は社会主義の完全な勝利へ向かい、さらに共産主義を建設する段階へと発展しています。

金日成主席の思想と偉業は金正恩総書記のなかに生きており、主席はいつまでも自主時代の革命の太陽として燦然と輝いています。

私は、金日成主席のことを思い起こす度に、主席から受けた深い愛と信頼を日本や世界で花咲かせるために人民とともに歩み続けていく決意を新たにしています。

世界に唯一無二の金日成主席の偉大な人柄

ネパール記者協会委員長
マンジュ・ラトナ・サキヤ

2022 年 4 月 15 日は、朝鮮人民の偉大な領袖金日成主席の誕生 110 周年を迎える日です。

朝鮮人民の太陽である金日成主席は万景台でお生まれになりました。

金日成主席の生誕は、抑圧されていた朝鮮人民にとって、そして全人類にとって一つの栄光でした。

金日成主席の生誕は、真の人生の時代、朝鮮の独立の時代を切り開きました。

偉大な領袖金日成主席の生誕 110 周年に際して、全朝鮮人民は人民の自由と独立、社会進歩のための聖なる偉業に自分の生を捧げ、人類のために輝かしい功績を積み上げた主席に最大の感謝と敬意を表しており、ネパール人民をはじめ世界のすべての進歩的人民は多彩な行事を催しています。

偉大な金日成主席は歴史の全時代、現在と明日を代表し、時代の進むべき道を示す革命の偉大な指導思想――チュチェ思想を創始した偉大な思想家・理論家でした。

金日成主席の接見を受けた世界の数多い国家元首と人士、学者は、われ知らず主席と親しくなり、率直な対話を交わしたと言っています。

おそらくこれは主席の広い度量、謙虚で誠実な品性に起因するでしょう。

金日成主席の偉大な人柄は、世界で唯一無二のものです。

国と民族のより大きな利益のために積み上げた金日成主席の歴史的功績を抜きにして朝鮮民主主義人民共和国の歴史について考えることはできません。

わたしは 1979 年 6 月 19 日、清津で金日成主席の接見を受けながら、直接目撃し体験した金日成主席の生涯と人柄の独特な長所にたいする記事を書いて出版しました。

党と国家活動によってご多忙な中でも主席は、1979 年 6 月 19 日、私たちを接見して談話を交わしました。主席は、わたしを古い友人と呼びながら暖かく抱擁しました。

これは私の心に消しがたい貴重な追憶として残っています。

偉大な金日成主席と直接、忌憚のない対話を交わす機会を持つようになったのは、わたしにとって大きな幸運でした。わたしはそのときの追憶を忘れることができません。この日は私の生涯でとても重要な日です。

金日成主席はわたしが提起したすべての質問に回答を与えました。

わたしが提起した質問に答える前に、金日成主席はわたしに次のように述べています。

「あなたがたと平壌（ピョンヤン）でお会いすべきでしたが、いま現地指導で地方に来ているため、遠いところまでおいでを願ってたいへん申し訳ありませんでした。ご了解願います。

わたしは、あなたがたのわが国訪問を熱烈に歓迎します。

わたしは、あなたがたが朝鮮人民とネパール人民の友好のために大いに努力しており、朝鮮人民に積極的な支持声援をよせていることにたいし感謝の意を表します。

とくに、ネパールジャーナリスト協会の委員長が、国の統一と社会主義建設をめざす朝鮮人民のたたかいに積極的な支持声援をよせ、わたしにたびたび祝電を送ってくださったことに感謝しています。わたしはきょう、あなたとはじめてお会いしますが、旧友に会ったような感じがします。きょうこうして会ったのですから、もう親しい友人になったも同然です。

わたしは、わが国とわたしにたいするあなたの心あたたまるお言葉に謝意を表します。そして朝鮮人民の祖国統一偉業に積極的な支持を表明してくださったことに感謝します。

わたしはきょう、あなたがたに会議の途中で会うことになりました。ごく短い時間ですが、あなたがたの提起した問題について簡単にお話しようと思います」

金日成主席は私が提起した質問に回答を与えました。

わたしが提起したすべての質問は、ネパールと朝鮮民主主義人民共和国との友好関係にかんするものでした。

談話の過程に私たちは、世界的に敬慕されている金日成主席についてもっと深く知るようになり、その日の体験はこんにちまでも私の心の中に消しがたい追憶として残っています。

われわれ自身は、金日成主席の人柄に対する印象がどうしてわれわれの心の中にあれほど深く根ざしているのかと驚きを覚え、そんなときはどう

してそうなったのかを自問したりします。

その答えとして、われわれは訪問期間、わが代表団のメンバーに対する偉大な領袖金日成主席の最も慈愛深く、親しい人柄について考えてみるようになり、まさにそれがわれわれをして大事な追憶を抱いて生きるようにする基本的動機であったと結論を下すようになります。

われわれが金日成主席の兄弟的歓待を受けるようになったのは、実にりっぱな契機でした。私と共に対話を交わしながら、そして私が提起した多くの質問に答弁を与えながら金日成主席が示した気さくな人柄と深い愛は、私たちに金日成主席のもっとも優れた人柄の長所こそ朝鮮を進歩と繁栄の道へと導いた根本的要因であることを確認するようにしました。

1990年11月29日、ピョンヤンで私はまたもや偉大な金日成主席に質問を提起する機会を持ちました。

ネパールと朝鮮民主主義人民共和国間の友好関係と相互協力、理解をより強化していく上で提起される問題に対する私の質問に、金日成主席は次のような回答を与えました。

「朝鮮とネパールとの関係は歴史的に好ましく発展してきました。一九七四年五月、朝鮮民主主義人民共和国とネパール王国間に外交関係が樹立されて以来、両国人民は支持しあい、政治、経済、文化の各分野にわたって協力してきました。こんにち、朝鮮とネパールの友好・協力関係は両国政府と人民の共同の努力によって日ましに好ましく発展しています」

われわれは、訪問期間、すべての分野で朝鮮人民の生活水準を系統的に引き上げるため、国家がどのような必要な措置を講じているか、生き生きとした実例を目撃しました。

これらすべては、偉大な金日成主席によってもたらされた結果でした。

主席の貢献によって、全朝鮮人民は今日、富裕で幸福な生活をしているのです。

われわれは訪問期間、教育分野で達成された驚くべき進歩について知り、朝鮮に対する数回の訪問過程を通じて、この国がすべての分野でずっと進んでいることを知りました。

朝鮮では、すべての子供のためにあらゆる近代的な設備が保障されています。

世界で唯一に朝鮮民主主義人民共和国だけが完全な無料教育と無料治療を行っています。

老人や女性の福祉対策も講じられ、人びとはなんの心配もなく暮らしています。

実に朝鮮民主主義人民共和国はあらゆる搾取から解放されており、これは全朝鮮人民の偉大な勝利です。

政治的問題が提起されないので、朝鮮民主主義人民共和国は非常に速く発展しています。

全朝鮮人民は民族的団結の精神と愛国主義を胸に、金正恩総書記の正しい導きの下、いかなる外部勢力の干渉も受けることなく国の自主権を守り、国の力強い発展を遂げています。

わたしは、朝鮮人民と共和国政府の関係があたかも魚と水の関係と同じであることを知りました。

朝鮮と世界の平和に対する金日成主席と偉大な金正日総書記の貢献は、世界史に金文字で刻まれるでしょう。

金日成主席の生誕110周年を迎える太陽節に際して、われわれは金日成主席に最大の敬意を表する次第です。

「わたしの心臓は今も受け入れていない。金日成主席がこれ以上われわれと共におられないという事実を…」

終わりに、われわれは金正恩総書記の安寧と繁栄を祈ります。

偉大なチュチェ思想万歳!

金日成主席と金正日総書記は永遠にわれわれとともにおられる!

ネパール朝鮮友好万歳!

現世界におけるチュチェ思想の正当性と生命力

インドネシア・朝鮮親善協会書記長

トゥグ・サントサ

2020年11月24日、インドネシア・朝鮮親善協会がインドネシアのチュチェ思想研究グループを結成しました。

インドネシア・朝鮮親善協会は、世界で朝鮮民主主義人民共和国と結んだ最初の親善協会の中の一つです。インドネシア・朝鮮親善協会は 2001

年に創立されたといえます。

しかし､歴史をさかのぼっていけばインドネシア･朝鮮親善協会が 1960 年代にすでに存在していたことが分かります。われわれは金日成花がインドネシアの専門家によって特別に栽培され､スカルノ大統領が 1965 年 4 月、ボゴール植物園で金日成主席との初対面の時に謹呈したインドネシアの原種の花であることを知っています。

金日成主席と金正日総書記のインドネシア訪問は、金日成主席にスカルノ大統領があげた金日成花とともにインドネシアと朝鮮との永遠な親善を象徴します。その親善はいつまでも続きました。

われわれは 1955 年バンドンでおこなわれたアジア､アフリカ諸国の会議の基本原則の中の一つである平和共存の原則に従っています。

平和共存の基本思想は個々の国が自己存在の範囲内で生存権と自主権行使の権利をもつということです。

一国の生存が他国によって脅威されるとき、脅威される国は自己の生存と自主権を擁護しうる堂々たる権利をもっています｡また平和共存の原則は個々の国が他民族と他国の自主性と自主権を尊重しなければならないと教えています。

金正日総書記は著作「チュチェ思想について」でチュチェ思想が朝鮮革命の自主的で創造的な前途を示しただけでなく､人類歴史の新時代を開いたと教えました。

総書記はチュチェ思想を哲学的原理、社会歴史原理、指導的原則の三つの構成体系に区分しました｡チュチェ思想は人間が自主性、創造性、意識性をもった社会的存在であるという原理を示しています｡チュチェ思想は人間を世界の中心に据えています｡人間はあらゆるものの主人であり､すべてを決定します。世界の改造を決定するのは人間です。

金正日総書記はまた人民大衆が歴史の主体であり､人類の歴史は人民大衆の自主性を実現し擁護するための闘争の歴史であると述べています｡それとともに金正日総書記は自主的立場を堅持するためには思想における主体、政治における自主、経済における自立、国防における自衛を具現しなければならないと教えました。

インドネシアのチュチェ思想研究グループの結成会でわれわれは新植民地主義と新帝国主義､そしてそのようなすべての表現に対処して世界の諸民族に該当する民族性と自主権に関する思想を確立することが重要であると強調しました。

チュチェ思想は日本の占領に反対する朝鮮民族の抵抗の時期に、朝鮮民主主義人民共和国の創建者である金日成主席によって創始されました。

初期に人々はチュチェ思想がマルクスの影響を受けた闘争思想だと見なしました。しかしその後、チュチェ思想は特に朝鮮民主主義人民共和国で自主性のための朝鮮人民の闘争で独創的な思想に発展してきました。

チュチェ思想は自己の運命の主人は自分自身であり、革命の主人もやはり自分自身であることを示しています。

チュチェ思想は他民族による抑圧に反対する朝鮮人民の闘争経験にもとづいて創始されました。チュチェ思想は自主性を実現し擁護するための思想です。

地政学的に見るとき、朝鮮民主主義人民共和国は中国、ロシア、日本といった大国によって囲まれています。この地政学的な現実は朝鮮民主主義人民共和国をして自主性を堅持し、実現するように促しました。

チュチェ思想があってわれわれは、わが民族が他民族に自己の運命を依存するのではなく、自民族に依存すべきであるということを深く自覚するようになりました。

人民大衆第一主義である金日成・金正日主義の生命力

モンゴルの自主的発展のための白頭山協会

社会政治学　博士　N・サラントゥヤ

偉大な金日成主席と金正日総書記の革命思想を金日成・金正日主義に定式化しながら金正恩総書記は金日成・金正日主義は本質において人民大衆第一主義であると新たに示しました。

金正恩総書記はチュチェの思想、理論、そして方法の体系である金日成・金正日主義が本質において人民大衆第一主義であると明らかにしました。

人民大衆第一主義は人民を世界でもっとも貴い存在として見なし、人民大衆のために献身的に奉仕し、人民をもっとも有力で才能ある存在として見なし、彼らに依拠してすべての問題を解決していくようにします。

金日成・金正日主義は人民大衆第一主義で一貫しています。

金日成・金正日主義は人民の自主的な要求と利益をすべてのものごとにたいする評価の唯一の基準にすべきであり、それが人民のために奉仕するときにのみ価値があると明らかにしています。

金日成・金正日主義はまた、人民の自主的な要求と利益を実現することをすべての社会的運動の根本目的としてみなしています。

金日成・金正日主義は、社会的運動、革命運動が人民大衆の自主性を擁護し実現するための闘争であり、革命と建設で堅持すべき原則は人民の自主的要求と利益を擁護し実現することであり、革命的党の存在方式は人民のために奉仕することであると明示しています。

金日成・金正日主義はまた、幹部らが人民の利益を絶対視し、人民のために献身的に奉仕しなければならないと明らかにしています。

金日成・金正日主義は人民を革命と建設の直接の担当者として見なし、人民の創造力を高め、それを遺憾なく発揮させることを革命と建設を勝利的に前進させうる根本方途として示しています。

金日成・金正日主義は世界に人民大衆よりもっと有力で賢明な存在はないということから出発して大衆の尽きない力と創造力を発揮させるとき、革命課題を成果的に遂行していくことができると明らかにしています。

朝鮮労働党の創建者である金日成主席は常に人民の意見を先に聞き、彼らの意思と要求、国の具体的実情に即して党の路線と政策を作成しました。

解放後、新しい社会建設の重荷を担って多忙な日々を送る中でも国の多くのところを訪ねて農村地域の実情と農民たちの願いを具体的に調べたうえで土地改革法令を発布し、社会主義経済建設の基本路線と農業協同化方針もそのように作成、提示されました。

金正日総書記は一生を人民の尊厳と幸福のために尽くすというのが自身の目標であり、信念であると述べました。

金正日総書記は朝鮮労働党をして人民の要求と利益の実現に自分の政策の使命と根本原則を置くようにしました。

「人民に奉仕する！」というスローガンを示した方も金正日総書記であります。

人民が望むならば空の星も取り、石の上にも花を咲かせなければならないというのが金正日総書記の見解であります。

全人民が困窮欠乏に耐えなければならず、国がもっとも厳しい難関に直面していた前世紀の末、人民大衆中心の朝鮮式社会主義を固守するため

に国防力の強化を重視した金正日総書記によって、人民のより幸福な生活を約束する社会主義強国建設の新時代が開かれるようになりました。

今日、人民大衆第一主義である金日成・金正日主義は、自主時代の革命と建設の唯一の指導思想として不敗の牽引力を発揮しています。

人民が望むならば空の星も取り、人民のためのことでは満足などありえないという人民にたいする滅私奉仕の精神をもって休みなく人民奉仕の道を歩んでいる金正恩総書記の労苦によって朝鮮民主主義人民共和国の姿は急ピッチで変貌しています。

「人民に奉仕する！」というスローガンを高く掲げて自己の永遠な生命力と不抜の力を発揮する朝鮮労働党が人民の絶対的な信頼と支持を受けるのは当然のことであります。

朝鮮労働党第 8 回大会でおこなった報告で金正恩総書記は朝鮮労働党が人民大衆第一主義を政治理念とする自己の使命と任務に忠実であったことについて指摘しました。

人民大衆第一主義を政治理念とする朝鮮労働党は総括期間、人民尊重、人民愛、人民にたいする滅私奉仕の革命的党風を全党にさらに徹底的に確立し、人民のために滅私奉仕する党としての自己の本態と特質をはっきりと示しました。朝鮮労働党は自己の路線と政策を樹立し実行するたびに人民の切なる要求と志向を尊重する原則とともにすべての生産と建設を進めるうえで人民の便宜を第一とし、人民の意見と評価を一つの基準とする原則を終始一貫堅持しました。また、朝鮮労働党はすべての党組織と国家機関が人民にたいする滅私奉仕の精神を高く発揮するよう格別の関心を払いました。

人民大衆第一主義にもとづいた朝鮮労働党の政治によって、朝鮮革命の政治的・思想的地位は強固になり、いかなる難関と挑戦も克服できる不敗の力が構築されたし、人民大衆中心の社会主義の優越性と生命力が遺憾なく発揮されました。

党と国家は人民のために滅私奉仕し、人民は党と国家に自己の運命と未来を全的に託し、党と国家を忠実に奉じる、ここに人民大衆第一主義が具現された社会主義朝鮮の真の姿があります。

人民のために滅私奉仕し、人民の絶対的な支持と信頼を受ける朝鮮労働党の偉業は必勝不敗でありましょう。

経済的自立と自主権を目指すアフリカ諸国の闘争

アフリカ地域チュチェ思想研究委員会書記長
労働界市民協会及びチュチェ思想研究全国協会委員長
教授、博士　ロヘケレ・カロンタ・アンドレ

１．偉大な金日成主席がチュチェ思想を創始し、偉大な金正日総書記がそれを国家生活のすべての分野に具現した結果、朝鮮民主主義人民共和国は平和と自主、諸国人民間の連帯を支持擁護する国家として、国際舞台に高く登場しています。そういうことから、チュチェ思想の指導的原則は、すべての社会環境に適用できる普遍的原理になって、すべての人があらゆる無知と蒙昧、くびきから抜け出るようにしています。

数十年間も奴隷制度擁護と植民地化、新植民地主義の矛盾を経験しているアフリカは始めて朝鮮民主主義人民共和国のこの新しい思想を知らされました。

４０余年前から、一部のアフリカの進歩的人物は、チュチェ思想を学んで普及し、アフリカ諸国に偉大なチュチェ思想を具現するために精一杯努力しています。

アフリカ地域チュチェ思想研究委員会は、理事と全国委員会を通じてより体系化されており、活動範囲が広くなっています。

結局、より多くのアフリカ人民、特に青年が次第に歴史の主体としての自分たちの役割について目覚めており、帝国主義諸国がやっきになって縛りつけようとする「対象」のくびきから逃れるために戦っています。

また、パトリス・エマリ・ルムンバ(Patrice Emery LUMUMBA)とアミカル・カブラル(Amical KABRAL)、トマ・サンカラ(Thomas SANKARA)のような愛国的なアフリカ指導者が流した血が功を奏しています。

それは自主性と自由、そして発展のためのかれらの闘争が、アフリカ人は自分自身の主人になるべきであり、自主的に自分の幸福を選択すべきであ

るという意識を次第に持ち始めた青年の心の中に、世代を継いで芽生える種となっているからです。

アフリカのこの若い世代たちは、より多くの知識を学ぼうという意欲を持っているが、いまだ残っている新植民地主義的構造システムの数多い障害に縛られて翼を広げていません。

また、より多くの一部アフリカ指導者たちが、勇気を持ってアフリカ人民の努力を弱化させる新植民地主義的行為を糾弾しています。

アフリカ指導者たちの英雄的な行動と振舞いは、若いアフリカ世代の間で反響を呼び起こしています。

これらすべては真の政治的及び経済的自主性と、国の自主権を目指して戦う現在のアフリカ青年の闘争熱意を示してくれます。

2. アフリカ人の間で大きくなりつつある、自分が自分自身の主人であるという意識の形成発展は、アフリカ共同体に少なからず残っている古い文化的及び構造的システムのため、まだ障害を受けています。

文化分野でアフリカの指導者たちは、依然としてアフリカ人の精神状態に完全に合致する政策を打ち出していません。

現在実施されている教育政策は、アフリカ諸国の歴史や具体的現実にまったく合致されず、かつて社会の根本価値としてみなされてきた連帯的なすべての活動が、利潤と金によって侵食されており、神聖なものが非神聖化されつつあります。

構造的側面から見ると民主主義という概念は、アフリカ社会で文明の価値として表面化されていません。

アフリカの民主主義を外国の強大国の概念で脚色するのではなく、アフリカ文化に即して具現しなければなりません。

わが国を支配する国家構造や憲法などは他国と新植民地主義の影響を受けており、それゆえ機構が脆弱であるのです。

3.　チュチェ思想研究者と核心指導者の団結した活動と、汎アフリカ主義のためのアフリカ青年のより意味のある活動によって、一連の根本原則がすべての段階で具現されない限り、恒久的な汎アフリカ運動を進めることは難しいです。

金日成主席が創始し、金日成主席と金正日総書記が発展させたチュチェ思想は、朝鮮民主主義人民共和国で実施されている立派な政策の里程標となっています。

アフリカでこれらの政策を成功裏に実施するためには、次のようないろいろな必須の根本原則を堅持しなければなりません。

それは：

● 人民の要求に一義的な注意を払うことです。

指導者の構想に人民が正しく従わなければ、いかなる政治的及び経済的闘争も結束することができません。

● 青年問題に主な関心を払うべきです。

● 建設的な労働にすべての人的資源を動員させ、国家経済の発展を促進させなければなりません。

アフリカ諸国の経済が脆弱で外向的であるのは、発展に必要な通貨を基本的に外部出資に頼っているからです。

これは誤った考えであり、アフリカ諸国の発展に必要な財政資源は根本的にアフリカの国で生産されるべきです。

全国の中小企業の促進と、地方の発展に関する発起を支持する政府の励ましとなる措置は、全人民に有利な国家資源の生産と流通をもたらすようになるでしょう。

こういった政策は、科学技術研究を励まし、辺鄙な地域の農民も立派な生活に必要な資源を持てるよう、その発展を絶えず促すことでしょう。

● アフリカの指導者たちは、真の自衛的国防力政策について悟らなければなりません。

他人の兵器を持って自分を円満に保護することは難しいです。

アフリカは自分の防衛に適した方途を模索すべきであり、安全武力が新植民地主義強国の手中に収められれば、政治と経済で自主性を堅持するというのが空しくなります。

●愛国主義を詳しい行動ではなく口先で取り繕う少なからぬアフリカ指導者の傾向。

普通、民族主義的演説が、日常生活で起こることと正反対であるため、勤労大衆が欺瞞されています。社会的不平等が増え、汚職、腐敗、あらゆる横領によって国家資金が蕩尽されています。

4.　青年に対する教育を通じて、チュチェ思想研究を力強く進めなければなりません。

基本は勤労大衆に適した思想、技術的教育と彼らの生活条件の向上に注意を払うことです。

無い人に寄贈する、型にはまった政策は、各公民に自分の権利に対する特権を保障する政策に座を譲らなければなりません。

結果的に国の経済的自主性と自主権をめざす闘争で、アフリカ人は革新的な方法を持って自分の自主哲学, 発展哲学について深く考えてみるべきです。

自由と発展を追求する道で深刻な足かせとなる、すべてを根こそぎにするためにはアフリカの具体的実情に即して、必ずチュチェ思想を身につけ、実践に具現するようにすべきです。

アフリカの青年は世界各国の人民や各民族と固く団結して、自主的で繁栄するアフリカを建設するために準備されています。

アフリカは発展のために挑戦するでしょう。

チュチェ思想は朝鮮人民の永遠な勝利の旗印として輝いている

チュチェ思想研究エジプト委員会委員長
チュチェ思想研究アフリカ国際委員会副委員長
ヤフヤ・カイララフ

金日成主席について話そうとすれば数百冊の本が必要です。

チュチェ思想が朝鮮人民に与えた影響力について論じる時、われわれは金日成主席によって朝鮮人民が収めた奇跡について話すようになります。

金日成主席は朝鮮人民の師であり、領袖であり、慈父でした。

チュチェ思想は研究に値し、適用に値する、価値をもつ指導思想です。

世界で人間によって偉大な改造が成されても、また科学技術的、情報的発展によって大きな発展が遂げられても、今もチュチェ思想は科学界と世界のインテリの間で論議されており、チュチェ思想が永遠に存在しなければならないということについて強調しています。われわれが暮している現代の要求とわれわれが直面した新たな条件と資料に照らして見ると地球上のすべての地域で暮らす人たちにチュチェ思想が必ず必要であることを知るようになるでしょう。

私は討論でチュチェ思想がもたらした主要改変にたいする理解で提起される諸問題について話そうと思います。

すべての哲学者は制度から出発した国家建設に関心をもっていました。彼らは人間を優先的地位に置かず、国家建設の土台の構築を論じました。

しかし、金日成主席は朝鮮人民を国家建設で大きな土台として見なしました。人間のいない国家の価値について考えられますか？意識的な人間のいない制度の価値は何ですか？人間のいない軍事装備の価値は何ですか？人間のいない貴金属の価値は何ですか？人間のいない祖国などありますか？これにたいする答えは火を見るよりも明らかだと思います。

偉大な革命思想であるチュチェ思想は徒手空拳で始まった朝鮮革命の唯一の武器です。90 余年前に偉大な金日成主席は、革命と建設の主人は人民大衆であり、革命と建設をおし進める力も人民大衆にあるというチュチェ思想を創始しました。

当時、朝鮮は日本帝国主義の軍事的占領（1905－1945）下にありました。外部勢力の軍靴の下で呻吟する民族の不幸を痛切に感じながら成長した

主席は日本帝国主義者を打ち破り、国の独立をなし遂げるという決心と念願を抱き、早くから革命の道に身を投じました。

日本帝国主義打倒はすなわち国際的に公認された日本の軍事力にたいする勝利、日本のヒステリックな「大和」魂にたいする勝利、明治維新後、70 年間、新しい日本が蓄積した人的、物的および財政的資源を減少させる戦争での勝利を意味しました。

その時、偉大な主席が信じたのは正義の偉業は必ず勝利するという確信であったし、朝鮮人民の力でした。

われわれはひたすら人民大衆の力を信じなければならない、われわれは 2 千万の人民を信じ、それに依拠して日本帝国主義に反対する血戦を展開しなければならない、これはほかならぬ主席が卡倫会議（1930 年 6 月 30 日—7 月 2 日）でおこなった歴史的な報告「朝鮮革命の進路」で闡明した思想でした。

朝鮮革命の主人は朝鮮人民であり、いかなる場合にも朝鮮革命は朝鮮の実情に合わせて朝鮮人民自身の力でおこなわなければならないというのが朝鮮革命の路線、指導思想となりました。

朝鮮人民はチュチェのスローガンを高く掲げて抗日武装闘争を展開することにより、祖国解放の歴史的偉業をなし遂げました。

一部の国々が新しい朝鮮の国づくりができるかどうか、首を傾げていたとき、朝鮮人民は祖国解放（1945 年 8 月 15 日）以後、自力で朝鮮民主主義人民共和国を創建しました。

祖国解放戦争（1950－1953）以後、帝国主義者は朝鮮が 100 年経っても再建できないと豪語しましたが、朝鮮人民は復旧建設をたった数年内に終えました。

朝鮮人民は革命と建設で提起されるすべての問題を自力更生の原則で、朝鮮の現実と利益に合わせて自分の決心と意志に従って解決し、すべての分野でチュチェと自主性の原則を確固と堅持しました。

大国主義者が「統合経済」を云々しながら朝鮮に「コメコン」に入ることを要求した時にも朝鮮人民は自分の力で生きていく立場を堅持しながら自立的民族経済を建設しました。社会主義経済建設の基本路線は重工業を優先的に発展させながら軽工業と農業を同時に発展させることであり、思想、技術、文化の 3 大革命路線、全軍幹部化、全軍現代化、全民武装化、全国要塞化の自衛的軍事路線など、革命の各年代に示された路線は「われわれの方式で生きよう！」という朝鮮人民の意志をそのまま反映しました。

さる世紀 90 年代の中葉、朝鮮を孤立圧殺しようとする帝国主義者の策動と持続する自然災害によって祖国と民族の運命を決するもっとも厳しい情勢の中でも朝鮮人民は先軍（軍事優先）の旗を高く掲げて自立経済の土台を強固に築き、社会主義を生命のごとく固守しました。

反共和国孤立圧殺勢力の策動は今日も続いています。

しかし過酷で長期的な条件において自力で生きていく方法を心得ている朝鮮人民にとって自力更生と自給自足は彼らの不変の信念となりました。朝鮮の創造精神であり、愛国気風である自力更生の精神によって国防力はもっとも高い水準に達し、人民経済の主体化、現代化、情報化、科学化を実現するための活動が推進されています。

朝鮮では黄金の山、黄金の原、黄金の海の新しい歴史がもたらされ、建設の新しい神話が創造されました。人民の夢と理想は日増しに現実となるでしょう。

チュチェ思想は社会主義強国建設を力強くおし進める朝鮮人民の永遠な勝利の旗印として輝いています。

朝鮮は金正恩総書記の政治下でもっとも明るい時代を迎えています。

総書記のすべての関心は朝鮮人民に向けられており、総書記の関心の焦点は人民生活の向上にあります。総書記は教育、青年、保健医療、生活のすべての側面に関心を払っています。

われわれはこの場で朝鮮民主主義人民共和国の指導部と人民にたいするわれわれの連帯と絶対的な信頼を表します。「COVID-19」によって招かれた世界的な経済危機の中で朝鮮民主主義人民共和国が収めた成果を称揚します。

終わりに、私は人間が世界でもっとも貴重な存在であるということを宣言しながら人類の敵に、人権の看板の下に自分らの利益のために人間を利用するな、と言いたいです。人類の敵よ、人間から手を離して犯した罪滅ぼしをしろ、君たちは人々を占領し、彼らの力を強奪することにより、彼らの人権を蹂躙した、今、君たちの正体はばれた。

人間は自主的で創造的かつ意識的な存在、地球上でもっとも貴重な存在として残っているでしょう。

金日成主席と自主性のための主席の闘争

ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会理事

リン・シノディウム

金日成主席は、朝鮮民主主義人民共和国の創建者であり、指導者です。

チュチェ思想を創始し、自主の時代を切り開いた主席は、逝去する前まで朝鮮を導きました。

１９９８年最高人民会議は、金日成主席を「朝鮮民主主義人民共和国の永遠なる主席」に戴くと公布しました。

恐るべき世界的な伝染病と息詰まるような制裁のため悪化していく複雑な国際環境の中でわれわれは 2022 年 4 月 15 日主席の生誕 110 周年を慶祝するようになります。

複雑かつ波乱に富み、横暴な世界の状況の中でも金正恩総書記は金日成主席と金正日総書記の後を受け継いで、ひたすら人民を守り、朝鮮民主主義人民共和国の自主権と自主性を保証するために苦心しています。

金日成主席と金正日総書記の遺訓に忠実である金正恩総書記は、チュチェ思想を変わりなく継承し発展させています。

傑出した戦略家である金正恩総書記は、朝鮮民主主義人民共和国を社会主義偉業の完遂に向かって進む、近代的かつ強力な国家に建設する自らの意志を表明しています。

金正恩総書記の周りに固く団結した朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国の武力、人民は民族の自主のために力強く闘っています。

チュチェ思想はあらゆる外部勢力の干渉と支配を排除します。

チュチェ思想は、人間は自己の運命の主人であり、自然と社会の主人であることを明らかにしています。

金日成主席は自主化の偉業において勝利を収めました。

主席は自衛力を備えた朝鮮式社会主義制度を建て、国の自主性と自主権を守りました。

主席は多数の国を訪問して国家及び党の首班と政治、社会、科学、新聞界をはじめとする各社会界の人物と会って建設的な対話を交わしました。

主席が政治、軍事、経済を指導しながら示した道は、国防委員会委員長である金正日総書記と朝鮮民主主義人民共和国の国務委員長である金正恩総書記によって継げられました。

金日成主席（１９１２－１９９４）は１９４５年に国の解放を成し遂げました。

朝鮮戦争の時期（１９５０－１９５３）、主席は国の実情に合う戦法を創造して祖国解放戦争の勝利をもたらしました。

戦後には重工業を優先的に発展させながら軽工業と農業を同時に発展させ、自主的に進むという経済建設の路線を打ち出しました。

金日成主席は１７０余カ国の国家首班と党の首班、著名な人士から71,100余点の贈り物をもらいました。

金日成主席は１９４５年８月２０日軍事・政治幹部におこなった演説「解放された祖国での党、国家および武力建設について」で朝鮮人民自身の力で富強で自主的な独立国家を建てるべき必要性について厳かに示しました。

主席は党と国家、軍隊建設偉業を立派に実現しました。

去る７０余年間朝鮮民主主儀人民共和国の自主権と尊厳、栄誉を守ってくれたより完壁化されていく軍事的潜在力は、国家防衛に関する金日成主席の自主的路線によるものです。

金日成主席が堅持した国防における自衛の原則は、先軍政治方式を打ち出した国防委員会委員長である金正日総書記（１９４２－２０１１）が堅持していた原則でもあります。

朝鮮民主主義人民共和国の勝利は、金正恩総書記の賢明な指導によって続けられています。

金正恩総書記は朝鮮人民の生活と福祉を向上させるための活動に熱中しています。

朝鮮民主主義人民共和国は去る 2021 年、共和国創立７３周年を迎えました。

去る７３年間は、朝鮮民主主義人民共和国の党と国家、軍隊の創建者である主席の業績を余すところなく見せています。

金日成主席の指導の下に１９４５年１０月に創立され、金正日総書記が強化、発展させ、今日は金正恩総書記の指導を受けている朝鮮労働党は、朝鮮人民のすべての勝利の組織者、導き手としての役割を果たしています。

朝鮮人民にとって金日成主席は慈愛深い父親、永遠なる領袖です。

自主で光輝くチュチェ朝鮮は世界のりっぱな模範である

英国チュチェ思想研究グループ委員長
英国先軍政治研究協会委員長
英国朝鮮親善協会委員長
博士　ダーモット・ハドソン

金日成主席の偉大な、且つ不滅の遺産はチュチェ思想とチュチェ朝鮮です。チュチェ朝鮮はチュチェ思想が生んだ奇跡です。

金正恩総書記は次のように述べています。

「偉大なチュチェ思想は人間中心の世界観、人民大衆中心の革命理論と方法であるがゆえに、自主性を志向する人であれば誰もがすぐ共感し、自分のものとして受け入れることのできる最も正当かつ普遍的で生命力のある革命思想である。チュチェ思想の旗の下に誇りに満ちた勝利の道を歩んできた朝鮮革命の栄えある歴史と、チュチェ思想の光の下に世界的規模で自主化の気運が日増しに高まっている今日の現実はその明白な実証となる」

金日成主席が創始したチュチェ思想は朝鮮人民に独立をもたらし、自

主、自立、自衛の国家であるチュチェ朝鮮を誕生させました。偉大な思想は常に偉大な現実を生むものです。

金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の指導の下に朝鮮は完全な自主性をもったチュチェの強国として高く浮上しました。高く聳え立ったチュチェ思想塔のようにチュチェ朝鮮の権威は高まりつつあります。実にチュチェ朝鮮は世界でもっとも自主的な国家であります。これについては敵らも認めています。朝鮮民主主義人民共和国の領土にはたった一人の外国軍隊も駐屯していません。チュチェ朝鮮の澄み切った青空では一機の外国軍用機も見ることができません。朝鮮民主主義人民共和国はいかなる軍事同盟にも加担しなかった真の非同盟国家、自主的な国家です。朝鮮民主主義人民共和国は国際通貨基金（IMF）、世銀、世界貿易機関（WTO）やエーペック(APEC)の構成国でありません。

朝鮮民主主義人民共和国は資本主義によるいかなる危機にも揺れない、強固な自立的民族経済をもっています。

チュチェ思想は不敗の社会主義強国、もっとも強固な社会主義を生みました。

朝鮮民主主義人民共和国における社会主義建設の全歴史はチュチェ思想にもとづく自主路線で一貫しています。チュチェは朝鮮労働党と人民政権のすべての政策と路線の基礎です。

チュチェ思想の旗の下に朝鮮民主主義人民共和国は自立的民族経済を建設し、社会主義工業化を完成しました。

朝鮮民主主義人民共和国はチョンリマ朝鮮、「社会主義模範の国」として世界に有名になりました。また無料治療と無料教育制度が実施され、税金が廃止されたことにより共和国は人民の楽園と化しました。

朝鮮民主主義人民共和国は帝国主義、植民地主義、そして新植民地主義の束縛から脱して新社会の建設を志向する非同盟諸国の人民に有力なモデルとなりました。

朝鮮民主主義人民共和国における社会主義建設は革命的で進歩的な多くの人民に鼓舞となっています。キューバの偉大な革命家エルネスト・チェ・ゲバラは1960年に朝鮮を訪問して次のように書いています。

「われわれが直接訪問した社会主義諸国の中で朝鮮はもっとも優れた国である。われわれにもっとも大きな印象を与えた国がほかならぬ朝鮮である」

アフリカとアジア、ラテンアメリカの多くの代表団が朝鮮民主主義人民共和国の経験を見習うために朝鮮を訪問しました。

1969 年マリでチュチェ思想研究グループが最初に結成されました。人民朝鮮のモデルとチュチェ思想の力強い牽引力は朝鮮民主主義人民共和国の国境を越えて非同盟諸国へと広範に普及され拡大しました。1,000 余個のチュチェ思想研究グループが組織されました。1978 年 4 月にはチュチェ思想国際研究所が日本の東京に創立されました。

自主性にたいする人民の念願を反映したことにより、チュチェ思想は世界人民の心をとらえました。

世界人民に自主性と自力更生の輝かしい模範を示したことにより、今日、帝国主義者はチュチェ朝鮮とチュチェ思想そのものを憎悪し恐れています。非同盟諸国が自力更生にもとづいた自立的民族経済を建設するならば、帝国主義と新植民地主義を退けることができるでしょう。

今日、金正恩総書記の指導の下に人民朝鮮は自力更生の旗を高く掲げて、敵対勢力の制裁を粉砕し、社会主義建設を力強く推し進めています。

自主で光り輝くチュチェ朝鮮は世界のりっぱな模範であります。

偉大なチュチェ思想万歳！

革命理論と実践の大家金日成主席

フィンランド・チュチェ思想研究会委員長

ユハ・キエクシ

今年われわれは、金日成主席の生誕１１０周年を迎えました。

金日成主席は 20 世紀の最も卓越した政治家であり、思想・理論家でありました。

金日成主席の指導の下に朝鮮民主主義人民共和国が創建された結果、数十年もの間、日本帝国主義者の奴隷として暮らしてきた朝鮮人民に自由と

人権をもたらせるようになりました。

歴史は社会建設におけるチュチェ思想の独特の威力を目撃しました。

マルクス主義は、労働者階級の世界観の一つとして社会主義理論をはじめて定立しました。

レーニンの指導の下にロシアで社会主義革命が遂行されました。

金日成主席は次のように述べています。

「もちろん、われわれはマルクスやレーニンなどの革命の先輩から革命闘争の理論と方法を学びました。しかし、かれらの示した革命理論や方法をいつまでも教条主義的に適用することはできません。歳月の流れとともに、時代の性格や社会的環境、革命の対象はかわります。革命の対象がかわる以上、革命の性格もかわり、革命の理論と方法もかわるべきです」

革命は自国から出発し、自分の力に頼って行うべきだという金日成主席の命題が、革命のための唯一の方途になるということが証明されました。

自分の力に頼るためには、経済的自立を実現しなければなりません。経済的自立なしには、いかなる民族も他国の圧力から逃れることができません。

たとえば、他国は対外貿易をやめると脅かすことで民族に圧力を加えます。

経済的自立がなければ、政治的自主性も失ってしまいます。

経済的自立と政治的自主性は、自主的な国家建設の起点となります。

わたしは金日成主席が人間の根本的属性である自主性と創造性について明らかにしたことについて強調したいと思います。

人間の根本的属性を解明し、それを革命運動に具現することは革命の勝利を達成する上できわめて重要であり、革命と社会主義が常に、人民の要求を反映するようにします。

人民の団結は速やかな社会建設で重要です。しかし、その団結が決して大衆の意見や見解を考慮しないということを意味するのではありません。創造性は、人民自身が提起される問題を自力で解決していくことを意味しま

す。

党が人民の声を聞き取り、人民の創造性を支持してこそ、革命精神が強くなり、革命と建設活動を大いに加速化することができます。

私は、金日成主席が示した思想革命に関する問題について強調したいです。

周知のように思想、技術、文化の 3 大革命は、完全な自主性を実現するために必要です。金日成主席はこの中で、思想革命が最も重要だと指摘しました。

旧ソ連と東ヨーロッパ社会主義諸国は社会主義を建設する上で、思想革命の重要性を無視したといえます。

思想革命を無視したため、人々はブルジョア宣伝に正しく対処することができませんでした。

金日成主席はこの問題点を正確に捉えました。

朝鮮民主主義人民共和国でチュチェ思想は、革命実践とともに発展しました。

金日成主席が創始したチュチェ思想は、はじめは金正日総書記によって、その後は金正恩総書記によって発展し、豊富化しています。

世界のどの国でも朝鮮民主主義人民共和国のように、社会主義理論が科学的に動揺することなく確立されず、21 世紀の実践でその理論を検証した国はありません。

金日成主席の著作は、朝鮮人民ばかりでなく全世界の労働者階級に利益をもたらしました。

金日成主席が創造したチュチェ思想に基づいてのみ、全世界で革命が勝利することができます。

世界で資本主義にたいする社会的不満は日増しに高まっています。われわれは、少数の人が世界の財貨を独り占めするのを許すことができません。それはすべての民族の恒常的な飢餓と奴隷化を招いています。

金日成主席はもっとも著名な理論家であり、政治家でありました。わたしはチュチェ思想に基づいて、より公正な世界建設を始めることができる

と確信します。

したがって、チュチェ思想と朝鮮民主主義人民共和国におけるチュチェ思想の具現について研究し、チュチェ思想を普及することは最も重要な問題となります。

金日成主席が創始した独創的なチュチェ思想でのみ、世界的な難問題を解決し、人民の福利を増進させることができます。

金日成主席：朝鮮の歴史と文化に根をおろした祖国を建設

ベネズエラ・チュチェ思想研究所委員長
ラテンアメリカチュチェ思想研究所副理事長
チュチェ思想国際研究所理事　教授　オマル・ロペス

金日成主席は日本帝国主義が朝鮮を併呑し、植民地化してから 2 年後である 1912 年 4 月 15 日、万景台で誕生しました。この植民地化の過程は朝鮮のすべての権力が日本の天皇に強制的に移譲された「韓日併合条約」を通じて実現されました。朝鮮の自主権にたいするこの侵略は朝鮮の独立運動を援助しないことに約束したアメリカの支援を受けました。

朝鮮民族の単一性と歴史、文化は体系的な抹殺段階に入りました。

これには 1923 年、朝鮮語教育の禁止と国家書類（公共機関、法律機関、学校）でのその使用禁止の代わりに日本語を使用させたことも含まれます。

日本帝国主義に反対する金日成主席の闘争が軍事分野だけでなく、朝鮮人民の頭の中で人民と祖国という概念自体を払拭しようとした企図とも対抗しなければならなかったという点について強調する必要があります。

金日成主席は日本帝国主義から国を解放した後、朝鮮を変貌させるためにたたかいました。

金日成主席は次のように述べています。

「資本主義や封建社会は、いずれも富める者が勤労者大衆を搾取してぜいたくをする社会だ。独立後、朝鮮にそんな不公平な社会をつく

るわけにはいかない。機械文明の発達に目を奪われて資本主義の病弊を見ないなら、それは誤りだ。封建王朝を再建するというのも論外だ。国を外部勢力に売り渡した王政になぜ未練をもつのか。いったい歴代の王がやったことはなにか。民衆を搾り、正論を吐く忠臣を流罪に処し、首をはねたことのほかになにをしたというのか。

　われわれは朝鮮の独立後、祖国に搾取と抑圧のない社会、労働者、農民をはじめ勤労者大衆が幸せに暮らせる社会を築かなければならない…」

　日本帝国主義が抹殺しようとしたその歴史文化遺産は今日、朝鮮民主主義人民共和国の尊厳あり、勇敢な人民を革命へと引導するのに必要です。

　朝鮮民主主義人民共和国の創建（1948 年 9 月 9 日）以前に創立された朝鮮労働党（1945 年 10 月 10 日）は、朝鮮人民の思想的修養と朝鮮革命において肯定的な役割を果たしました。

　主席は回顧録で次のように述べています。

　「朝鮮共産党は、現実に対応した指導思想に欠け、隊列の統一を保てず、大衆のなかに深く根を張れないなどの根本的制約によって、労働者階級の前衛としての役割を十分に果たせなかったが、その創立は新旧思潮の交代と民族解放闘争の質的変化を示す意義ある出来事として、労働運動、農民運動、青年運動などの大衆運動と民族解放運動の発展を促した」

　われわれは 20 世紀に起こった革命的出来事を通じて 10 月革命後、諸国でボルシェビキ党の複写版である「共産党」がどのように生まれ、レーニンがソビエト社会主義共和国連盟を創建したことについてよく知っています。

　金日成主席はチュチェ型の革命的党を創立するために闘いました。

　金日成主席は回顧録「世紀とともに」で次のように述べています。

　「初期の共産主義者は事大主義にとらわれて、自力で党を建設し革命を進めようとはせず、各自『正統派』をもって任じ、ジャガイモの印鑑までつくってコミンテルンの承認を得ようと駆けずりまわった。

　わたしはわが国の民族主義運動と初期共産主義運動のこうした実態を分析し、革命をそういうやり方で進めてはならないと痛感した。

　こうしてわたしは、自国の革命は自らが責任をもち、自国人民の力に依拠して遂行してこそ勝利するのであり、革命で提起されるすべての問題を自主的に、創造的に解決していかなければならないという

信念をいだくようになった。これがいまいっているチュチェ思想の出発点となったのである」

　われわれは金日成主席を民族解放と民族自決を実現しようとする諸国人民の活動と方向の先導者と思っています。

　幅広くて多様な金日成主席の歴史および政治遺産は今日、朝鮮民主主義人民共和国の政治、経済、軍事、文化および社会生活を導いていくチュチェ思想の創始と全面的な体系化、その発展豊富化の過程を通じて要約して見ることができます。

６． 実話

平壌はわたしの恋人である

インフン

数日間の朝鮮訪問の日程を終えたミケルは帰国に先立って滞在期間しょっちゅう抱いていた心の内を通訳の娘に打ち明けた。

「朝鮮には女性が他国の人と結婚してはいけないという法律がありますか？」

娘は外国人から初めてこういう質問を受けた。

彼女は笑いながらいった。

「そんな法律はありません。しかし、普通わが国の女性たちは慣例的に自国の男性と結婚しています。

結婚とは互いに共通する何かがあって合わせられる異性間の結合なのに、思想と理念、生活習慣や風習、言語とその他のすべての面でそれぞれ異なる二人が結合されれば同化される過程が長くなるでしょう。お互いに多くのことを理解しなければならないその過程が長ければ、人間のあまり長くもない生がどんなに辛いでしょう？」

「？！」

「ところがどうして聞きますか？」

「わたしはまだ未婚である。なぜならわたしには家がない。家を買う金もないよ。一人の女を幸せにしてくれる金がなければ、人間が享受できる権利を放棄しなければならないということをわれわれはよく知っている。

ところが、朝鮮に来ると家の心配がない。そして無料義務教育制度の恩恵で子供を勉強させる心配がない。だから、こういう国で暮らしたいのよ。もちろん、わたしのこの夢は実現不可能だと思うが、いつも考えていることだよ。

朝鮮で生まれたならば今頃わたしは子をもった父になり、ある女性の立派な夫になったはずである。

わたしは今 3 人の友人とともに金を出して間借り生活をしている。平壌を発たなければならないこの時刻に正直言ってわたしは帰りたくない。」

彼の真心の話を聞いている娘の頭の中には平壌市に入りながら感動していた彼の姿が思い浮かんだ。

「朝鮮の通りは実に美しくて立派に整備されている。外国では見られない綺麗な姿である。他国ではぜひ金を出して報酬してこそ建設者が作業にとりかかる。あまりにも対照的だ。

人民のために黎明（リョミョン）通りをこのように短期間に立派に建設したことは驚嘆に値する事実である。こういう奇跡は思想の力によって生まれたものである。

互いに相反する二つの世界！

思想の差だと思う」

万景台の生家、朝鮮革命博物館、祖国解放戦争勝利記念館、チュチェ思想塔、凱旋門、青年運動事績館、平壌中等学院、中央動物園…

平壌の各地を参観しながら彼は訪問の一日一日が自分には実に有意義であると言っていた。

「チュチェ思想塔の高さはチュチェ思想を信奉するわれわれの精神力の高さである」

「朝鮮には『未来を愛せよ！』という立派なスローガンがある。わが国ではほとんどの人が未来を恐れている。

子供たちの幸せな笑いと夢は朝鮮の未来である。その未来を愛する敬愛する金正恩総書記と朝鮮労働党があるがゆえに、朝鮮の未来は明るくて洋々としている」

「平壌中等学院は学校というよりはホテルのようであり、宮殿のようである。両親を失った子供が父母のいる子供よりもっと明るくて幸福に育っている姿を目の当たりにしてわたしも朝鮮の子供として再び生まれたい。

わたしは朝鮮に完全に魅了された。子供たちの明るい姿の中に朝鮮の未来が見えている」

「平壌サーカス団の公演は実に素晴らしい。資本主義国では特定の人物や金持ちだけが見られる公演である。ところが、このように朝鮮に来て子供たちと老人など、すべての人が観覧することを見ると、社会主義制度の優越性について再度感じるようになった」

「資本主義国では特権層や富豪だけが文明を享受できる。朝鮮人民は実に幸福な人民である」

…

参観地での彼の言葉をいまさら振り返りながら娘は平壌を発とうとしないミケルの気持ちが十分に理解できた。

スペインのある不動産会社の社員であるミケルは本当に発ちたくないように平壌の青空をしばらく眺めた。

人間は未来を抱いて生きる。

それは人間の本性的要求でもある。ミケルは平壌で人類の未来、美しい未来を見たのである。

「それでもスペインはあなたが生まれ育った祖国ではありませんか」

ミケルはそれを肯定し、うなずきながら言った。

「わたしは朝鮮に来て兄弟の情、血肉の情を感じるようになった。みんなが仲むつまじい一つの大家庭のようである。チュチェ思想に根を下したわれわれはその枝であり、葉っぱである。チュチェ思想がある限り、われわれの兄弟の情はより厚くなるだろう」

彼は通訳の娘の両手をとって切に話を続けた。

「わたしは帰っても平壌はわたしの恋人である。わたしの心は平壌に残っているだろう」

異彩を放った声明発表

リョム・ジョンシル

2018 年朝鮮民主主義人民共和国では朝鮮人民と女性たちの正義の偉業を支持する 2018 年国際民主女性同盟の連帯行進の出征式があった。

ところが、行事の前に出征式で発表する連帯声明の朗読をわれもわれもと、互いに譲ろうとしない。

これはこまったわ、だれも譲ろうとしないから、どうしよう？

出征式を控えてこういう意見相違が生じるだろうとは思わなかった。

「連帯声明はボリュームがあって大衆の前に出て見た経験もある代表が朗読すべきではないでしょうか？」

国際民主女性連盟委員長ロレナ・ペニャがいくら言っても無駄であった。

「連帯声明はわたしが朗読するわ」

「いや、朝鮮で行われるこの行事ではわたしがぜひ朗読したいのよ」

「わたしも朝鮮人民に支持を送りたいわ」

国際民主女性連盟の指導部のメンバーたちからはじまってこのようにそれぞれ世話を焼かした。

彼女らは朝鮮に来て祖国解放戦争勝利記念館、万景台学生少年宮殿、平壌産院乳腺腫瘍研究所、玉流児童病院をはじめとした各地を参観しながら女性たちの幸せな姿を目の当たりにし、朝鮮労働党と政府の施策が世界で一番すばらしいということを切に感じていたのである。

ロレナ・ペニャは長い政界生活に慣れている女性であった。ところが、こういうことは初めてなので狼狽した。

この時、誰かがいい提案を出した。

「一人が一つの文章ずつ朗読するのはどうでしょう？」

なるほど名案であった。

一人が一つの文章を朗読し、通訳がその文章を朝鮮語で語るとき、他の人がマイクの方に出て席を移して立ちながら自分が読むべき次の文章を朗読する？！

それは奇抜な考えであった。

「よし、そうしよう」

こうして難題は解決された。

ロレナ・ペニャはふと前年の 6 月、イタリアのローマであった国際民主女性連盟書記局会議が思い出された。

その会議の休憩時間に、朝鮮を訪問したことのある目撃者が女性の社会的地位を男性と同等に保障し、女性の健康福祉のためにすべてを惜しみなく配慮している社会主義朝鮮を褒めたたえた。

すると場内では「次の会議は朝鮮でしよう。それで朝鮮を見よう」という歓呼の声が沸きあがった。

「よし、朝鮮へ！」

それで国際民主女性連盟書記局の会議、執行委員会の会議を平壌で組織し、この機会に朝鮮人民と女性たちの正義の偉業を支持する 2018 年国際民主女性連盟の連帯行進を行うことにしたのであった。

とうとう 4 月 22 日、連帯行進の出征式が祖国統一 3 大憲章記念塔の前であった。

出征式には朝鮮社会主義女性同盟中央委員会委員長をはじめとした
世界人民と連帯する朝鮮委員会の副委員長、女性同盟中央委員会の活動家、各階層の女性勤労者が参加した。

ロレナ・ペニャ国際民主女性連盟委員長や連盟指導部のメンバー、ギリシャ、ベネズエラ、パキスタン、ベトナム、メキシコ、アルゼンチン、アンゴラ、サハラ、ポルトガル、ブラジル、イタリア、キューバ、コロンビア、トルコ、サルバドルなど、各国から来た女性代表団と代表がここに参加した。

国際民主女性連盟指導部のあるメンバーが出て連帯声明の音頭をとった。

「朝鮮人民と女性たちの正義の偉業を支持する国際民主女性同盟連帯声明。

朝鮮人民と女性たちの正義の偉業を支持する2018年国際民主女性連盟連帯行進出征式に参加したわれわれは、朝鮮労働党中央委員会第7期第3回総会の決定と北南関係の改善のための朝鮮民主主義人民共和国政府の公明正大な提案、主動的な措置を全的に支持する」

通訳が朝鮮語で訳する間に国際民主女性連盟指導部の他のメンバーが席を移して連帯声明の文章を続けて朗読した。

「朝鮮半島の分裂に関連ある国々と国際社会は北と南の間の不信と対決をあおりたてず、朝鮮の統一に助けとなることをしなければならない」

このように力強い声で各国の女性代表が席を移しながら連帯声明を朗読した。

「正義と平和を愛する全世界の女性たちと人民が国の自主的統一のための朝鮮人民の闘争を支持する国際的な連帯活動に積極的に合流していくだろう」

「朝鮮民主主義人民共和国創建70周年になる今年を自主統一、平和繁栄のための朝鮮人民の闘争で特記すべき年として立派に飾られるだろうという確信をわれわれは表明する」

…

国際民主女性連盟会議の史上初めての異彩を放つ連帯声明の採択であった。



